


スリ・ランカ国看護教育プロジェクト 巡回指導調査団報告書

平成10年2月
(1998年2月)

国際協力事業団
医療協力部

JICA LIBRARY

J 1146958(2)

| |
|-------|
| 医協一 |
| J R |
| 98-15 |

0
9
1
ARY



1146958 [2]

スリ・ランカ国看護教育プロジェクト
巡回指導調査団報告書

平成10年2月
(1998年2月)

国際協力事業団
医療協力部

序 文

スリ・ランカ国看護教育プロジェクトは、同国の看護婦不足への対策と質の向上のために、わが国の無償資金協力により新設される国立スリジャヤワルダナプラ看護学校を基礎教育の向上をめざしたモデルケースとして位置づけ、全国の国立看護学校における教育の質の向上、高度化を目的として、平成8年10月から5年間の協力期間で開始されました。

このたび、協力開始後1年あまりの時点でこれまでの活動内容を確認し、本プロジェクトにかかわる専門家とカウンターパートに必要な助言を提供し、また、本プロジェクト当初の目標を達成するために必要な事項をスリ・ランカ側関係者と協議するため、国際協力事業団は、平成10年1月12日から1月18日までの日程で、厚生省看護研修研究センター所長田村やよひ氏を団長として、巡回指導調査団を派遣しました。

本報告書は、上記調査団の調査結果を取りまとめたものです。

ここに本調査にご協力を賜りました関係各位に深甚なる謝意を表しますとともに、本プロジェクトの実施運営に対しまして、さらなるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成10年2月

国際協力事業団

医療協力部長 福原毅文



JICA事務所長表敬

大野団員

石平団員

田村団長

狩野
事務所長

佐々木リーダー



保健省主催昼食会に副大臣も参加

試験・研修・
研究担当
副局長

看護教育課長

副大臣

副大臣

地域保健
課長

看護サービス
課長



ミニッツの署名交換

看護教育課長

技能・研修・
研究担当
副局長

保健サービス
局長

保健省次官

田村団長

大蔵省対外
援助局長

スリジャヤ
ワルダナブラ
総合病院理事長



スリジャヤワルダナブラ看護学校教員と

Abeyardene

Samarawickreme

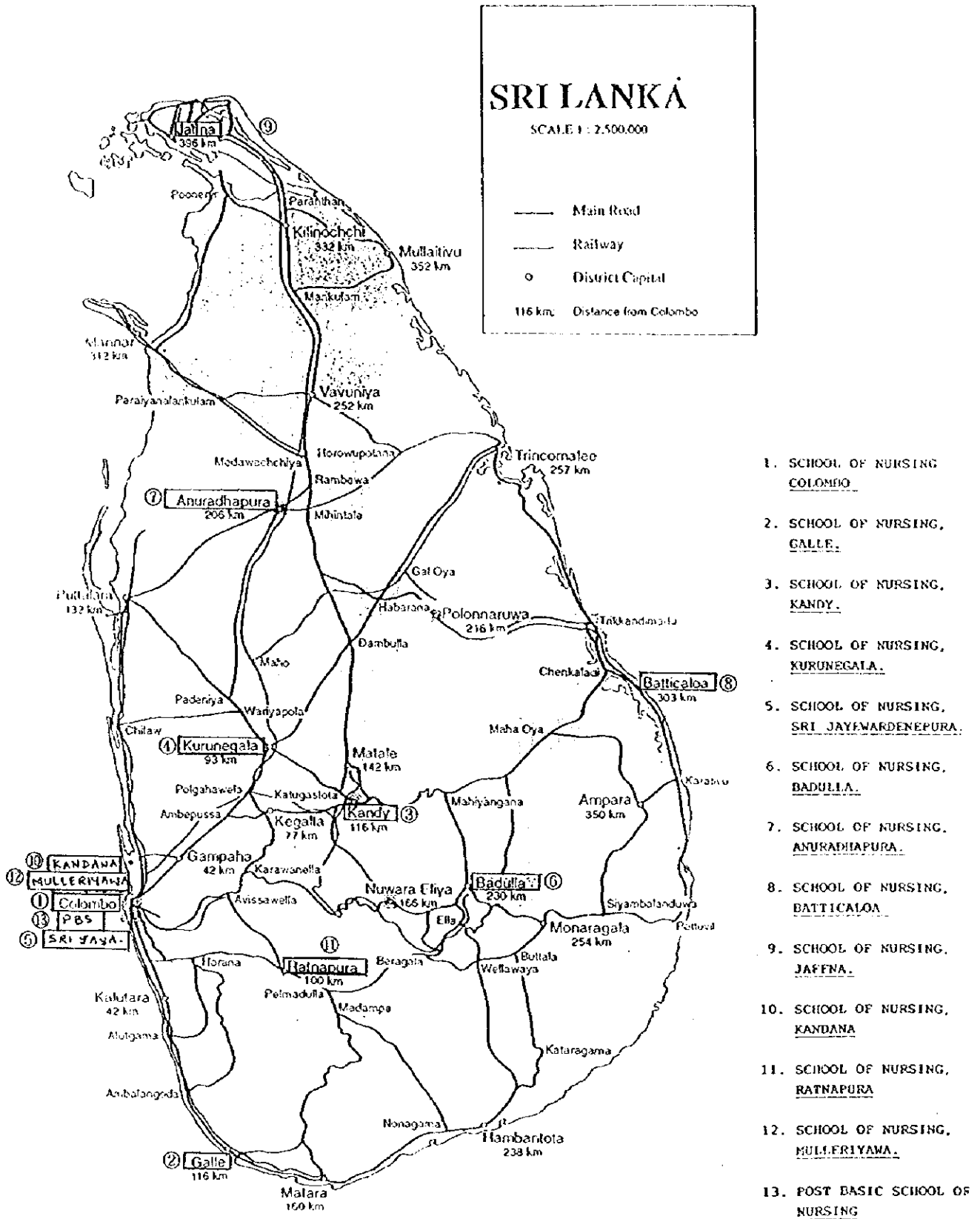


授業風景



新国立スリジャヤワルダナブラ看護学校建設現場

地図：スリ・ランカ民主社会主義共和国
および看護学校位置図



目 次

序 文
写 真
地 図

| | |
|-------------------------------|----|
| 1. 巡回指導調査団の派遣 | 1 |
| 1-1 調査団派遣の経緯と目的 | 1 |
| 1-2 調査団の構成 | 2 |
| 1-3 調査日程 | 2 |
| 1-4 主要面談者 | 3 |
| 2. 調査結果 | 4 |
| 2-1 主な巡回指導調査結果 | 4 |
| 2-2 プロジェクト実施上の問題とそれへの対応 | 5 |
| 2-3 合同調整委員会への参加 | 7 |
| 附属資料 | |
| ① ミニッツ | 11 |
| ② 合同調整委員会資料および出席者リスト | 14 |
| ③ 専門家との打合せ資料 | 19 |

1. 巡回指導調査団の派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

スリ・ランカ民主社会主義共和国（以下、スリ・ランカ）政府は、看護婦不足への対策と質の向上のために、わが国に対し、スリジャヤワルダナプラ総合病院（SJGH）に隣接した敷地への看護学校の建設にかかる無償資金協力と、ICU、CCU等の専門看護についての技術協力が要請された。その後の事前調査や長期調査により、同看護学校は、看護基礎教育の向上をめざしたモデルケースとして位置づけるとともに、他に10校ある国立看護学校における教育の質の向上、高度化をも視野に入れた技術協力プロジェクトとすることが検討された。1996年5月に派遣された実施協議調査団において、以下の内容のプロジェクトについて、1996年10月から5年間の協力をを行うことが合意された。

目 的：スリ・ランカにおける看護教育のモデル校を作る。

協力内容：①スリ・ランカ全体の看護教育の基礎調査を行う。

②学校運営計画を策定し、実施評価する。

③学校独自のビジョンを作成する。

④新しい教育法を教授する。

⑤教材作成技術を指導する。

⑥実習教材、必要図書を供与する。

プロジェクト開始より1年あまり経過した現在、長期専門家4名（チーフアドバイザー、看護教育2名、業務調整）がすべて着任し、①看護学校の実態調査、②看護実習にかかるワークショップの開催、③看護学校設置準備活動、を中心に協力活動が進んでいる一方、カウンターパートの多忙等、先方の実施体制の問題点も顕在化しているため、今般巡回指導調査団を派遣し、今後のプロジェクト運営体制について、プロジェクト実施機関、保健省関係者と協議することとなった。

特に、保健省看護教育課長が多忙のためプロジェクトの運営に実質的な関与ができないことについては、先の計画打合せ調査団以来の懸案事項であったが、本調査団派遣の直前になって、施設・事務・ロジスティック課長が、保健省とプロジェクトとのコーディネーターに任命された。そこで本調査団は看護教育課長とコーディネーターの役割を明確にするとともに、先方のプロジェクト運営体制やカウンターパート配置にかかる協議に重点を置くこととなった。

その他、新看護学校開校準備体制および新看護学校と現 SJGH 看護学校との関係整理、ならびに看護教育カリキュラム改訂におけるプロジェクトの役割について協議するとともに、今後の活動計画を検討することを目的として、巡回指導調査団が派遣された。

1-2 調査団の構成

| 担当 | 氏名 | 所属 |
|---------|-------|--------------------------|
| 団長 総括 | 田村やよひ | 厚生省看護研修研究センター所長 |
| 団員 看護教育 | 石平 正子 | 厚生省国立国際医療センター病院付属看護学校副校長 |
| 団員 協力計画 | 大野ゆかり | 国際協力事業団医療協力部医療協力第一課職員 |

1-3 調査日程

| 日順 | 月 日 | 曜日 | 移動 および 業務 |
|----|-------|----|--|
| 1 | 1月12日 | 月 | 移動 東京 (10:30) →バンコク (15:30) TG611 バンコク (18:40) →コロンボ (21:00) CX701 |
| 2 | 13日 | 火 | 09:00 JICA 事務所表敬 10:00 保健省次官表敬、協議 11:30 保健省保健サービス局次官(試験・研修・研究担当)表敬、協議 14:30 スリジャヤワルダナプラ看護学校視察 16:00 スリジャヤワルダナプラ総合病院理事長表敬、協議 |
| 3 | 14日 | 水 | 09:30 専門家とのプロジェクト進捗、1998年度計画にかかる打合せ 13:00 看護教育課長、日本大使館書記官、JICA 事務所担当者との打合せ 14:30 看護教育課長との打合せ 16:00 合同調整委員会準備、ミニッツ案作成 |
| 4 | 15日 | 木 | 10:00 合同調整委員会開催 12:30 保健省主催昼食会 (タージホテル) 14:30 看護教員研修所 (Post Basic School of Nursing) およびコロンボ総合病院視察 16:00 WHO 表敬 17:00 保健省局次官とのミニッツ最終案打合せ |
| 5 | 16日 | 金 | 12:30 ミニッツ署名 団長主催昼食会 (オペロイホテル) 14:30 日本大使館書記官への報告 15:00 JICA 事務所報告 |
| 6 | 17日 | 土 | 専門家生活環境視察等 (田村団長、石平団員) 移動 コロンボ (23:55) →シンガポール (05:50) |
| 7 | 18日 | 日 | (田村団長、石平団員) 移動 シンガポール (08:25) →東京 (15:45) JL712 (大野団員は22日帰国) |

1-4 主要面談者

(1) スリ・ランカ側関係者

1) 保健省 (Ministry of Health & Indigenous Medicine)

| | |
|------------------------------|--|
| Mr.Navinna | Deputy Minister of Health & Indigenous Medicine |
| Mrs.Pavithra Wanniarachchi | Deputy Minister of Health & Indigenous Medicine |
| Mr.Christie Silva | Secretary (1/19 に異動) |
| Dr.V.Jeganathan | Director General, Health Services |
| Dr.S.A.P.Gnanissara | Deputy Director General (Exams, Training & Research) |
| Mrs.N.C.De Costa | Director, Nursing Education |
| Ms.Kusum Vithana | Director, Nursing, Medical Services |
| Ms.L.Gunesinghe | Director, Nursing, Public Health Nursing |
| Ms.Iranganee Abeygunewardene | Director, Buildings, Administration & Logistics |
| Mr.T.M.K.B.Tennekoon | Deputy Director General, Buildings & Logistic |

2) 大蔵省

| | |
|----------------------|---|
| Mr.J.H.J.Jayamaha | Director, Department of External Resources |
| Ms.W.A.S.Mahawewa | Deputy Director, Human Resources Dev.Division |
| Mr.Abeykeerthi | Deputy Director of Budget |
| Mrs.C.S.Kumarasinghe | Director, Dept. of National Budget |

3) スリジャヤワルダナプura総合病院 (Sri Jayewardenapura General Hospital: SJGH)

| | |
|---------------------|---------------------|
| Dr.J.B.Peiris | Chairman |
| Dr.D.L.De Lanerolle | Director |
| Ms.M.Dayananda | Chief Matron |
| Ms.B.S.Abeywardene | Senior Tutor Sister |
| Ms.S.Samaravickreme | Tutor Sister |
| Ms.M.W.Ranawaka | Tutor Sister |

(2) 日本側関係者

1) 在スリ・ランカ日本国大使館

金井 要 一等書記官

2) JICA スリ・ランカ事務所

狩野 良昭 所長
藤原 純子 所員

2. 調査結果

2-1 主な巡回指導調査結果

(I) 1997年4月以降のプロジェクトの進捗状況

1997年度に予定していた主要な活動計画は、ほぼ達成していた。

1) ベースラインサーベイ

11校の看護学校の調査結果はまとめられ、資料として一覧できる状態にあった。スリ・ランカではこれまで、全国の看護学校の調査が行われておらず、看護教育課長はこの結果に興味深く見入っていた。

今後は、この調査結果をプロジェクトにどのように反映していくのが課題になる。また、プロジェクトの進展に伴ってさらに補完的もしくは詳細な調査が必要になることも考えられる。

2) 新国立看護学校の開設準備

①各種委員会の開催

作業委員会は1997年12月まで、月に1回のペースで8回開催された。さらに、看護学校側および病院側それぞれのサブ作業委員会を設置し、作業委員会が円滑に機能するように図るとともに、図書準備委員会も発足させたところである。スリ・ランカの看護学校の図書保有状況はきわめて貧弱であるうえに、1993年以降の新刊図書がないことから、今後のこの委員会の活動は重要である。7000冊を目標に購入図書リストを作る予定である。

② SJGH における看護および実習指導の質の向上に向けた活動

1997年度は、長期専門家および短期専門家により、SJGH における臨床看護活動および看護学生の実習指導の実態と今後強化を図っていくべき点を明らかにし、改善に向けた活動を始めようとしているところである。

③カリキュラムの検討

保健省看護教育課が WHO 看護専門官と国立看護学校教員の協力のもとに作成した新カリキュラムが完成したところである。カリキュラムの検討に本プロジェクトからの参加がなかったことから、プロジェクトとしては新カリキュラムの分析を行ったところであり、今後保健省と協議を進めていくことになっている。

なお、WHO スリ・ランカ事務所とプロジェクトとの公式の連携がこれまでなかったため、1月15日に調査団と専門家とが訪問してプロジェクトの目的及び活動内容を説明し、今後、連携を図っていきたい旨を伝えた。

3) ワークショップセミナーの開催

臨床実習指導に関するワークショップセミナーが、1997年5月26日から31日および11月10日から13日の2回にわたり開催された。参加者は看護学校教員および病院の中堅指導者であり、1回目は74人、2回目は70人の参加があった。今後は、参加者がセミナーでの学習をその場だけのものにせず、どのように各自の持ち場で発揮していけるかが問われている。そのためのフォローアップ体制が必要である。

4) 専門家派遣

長期専門家として、7月4日から樋口まち子氏が地域保健分野で着任し、長期専門家は4人全員が揃った。樋口氏はスリ・ランカでの生活経験も長く、生活基盤も確立しているため、プロジェクトの活動にスムーズに合流できているようである。

短期専門家としては、ワークショップセミナーに合わせて、山本あい子氏ほか2名が兵庫県立看護大学から派遣された。また筑波大学から森淑江氏が派遣され、SJGHにおける臨床看護の実態把握を基に、実習指導その他、今後の活動の方向性についての示唆をいただいた。3月に派遣される短期専門家についても森氏に依頼することを確認した。

5) カウンターパートの研修

1997年度は2名の研修計画があった。1997年10月に、SJGH 病院長が2週間の日本での看護学校経営の研修を終了しており、残る1名(看護学校教員)は1998年3月から研修に入る予定である。

6) 機材供与

この分野は、通関手続きの責任が不明確であったことなどのために最も遅れており、1996年度分の機材が1997年末にようやく各看護学校へ配分されたばかりであった。

2-2 プロジェクト実施上の問題とそれへの対応

プロジェクト実施上の問題については、長期専門家と本巡回指導調査団との会議を1月14日にもち、問題の確認と今後の対応を話し合った。特に保健省および SJGH 側の対応を必要とする問題が多かったことから、これについては、関係者との個別の協議および1月15日の合同調整委員会での協議をもとに、ミニッツにまとめ、確認事項とした。

なお、今回の署名者には、本プロジェクトの実質的な推進者であるデ・コスク看護教育課長も入っている。

(1) 看護教育課長との連携の困難・不足

- ①看護教育課長がプロジェクトの実質的な推進者であることをミニッツに明言し、保健省の中において看護教育課長がプロジェクトのために動きやすい環境づくりをサポートするよ

う配慮した。

- ②1997年4月に派遣された計画打合せ調査団とスリ・ランカ側とが約束していた、看護教育課長をサポートするためのマンパワーは配置されていた。しかし、この人はロジスティックの課長であり、日本側が要求していた看護教育に関する補佐役としては十分とは言えないと判断された。このため、このロジスティックの課長には保健省とプロジェクトの専門家との調整をしてもらうこととし、看護教育の面では、1998年2月に学校長を選任して看護教育課長との連携を強化することとした。

(2) 学校長の選任の件

- ①新学校長を選任するための面接には、専門家の参加を取り付けた。
- ②新学校長の活動拠点については、保健省側は省内において活動すると考えていた。しかし、新看護学校の準備を円滑に進めるには SJGH の近くで活動することが望ましいと考えられるため、これを了承させた。

(3) 新カリキュラムの件

- ①新カリキュラムは本プロジェクトの成否に大きな影響を与えるものであることから、保健省は日本側の専門家との協議を行ったうえで、最終案を確定することとした。

(4) 新看護学校の予算確保および管理について

- ①保健省は必要な予算の確保をすることを約束した。
- ②財政および管理に関する事柄の詳細な検討は1月22日に開催予定である運営委員会で検討することとした。
- ③学生の確保については、毎年同時期に100人を受け入れることを約束した。

(5) 現在の SJGH 看護学校と新看護学校との関連について

- ①昨年、SJGH 側より現在の看護学校に在籍している31名の学生について、新看護学校がスタートしたときには、新看護学校の学生として扱ってほしい旨の申し入れがあったが、今回、以下のように整理された。

現在の学生は新看護学校の施設を使用することができること。しかし SJGH 看護学校学生として扱われ、新設の国立看護学校学生としては扱われないこと。

- ②現在の SJGH 看護学校教員は、新設の国立看護学校開校後はその教員に異動となる。しかし、国立看護学校開校時には、SJGH 看護学校の3年次の学生がまだ在学中であるため、彼女たちの教育に支障を来たすことのないように SJGH 側は病院の看護婦で教員養成講習

を修了した者を教員として配置する予定であることを確認した。

(6) 供与機材の通関の件

供与機材の通関については、保健省が責任を負うことを確認した。

2-3 合同調整委員会への参加

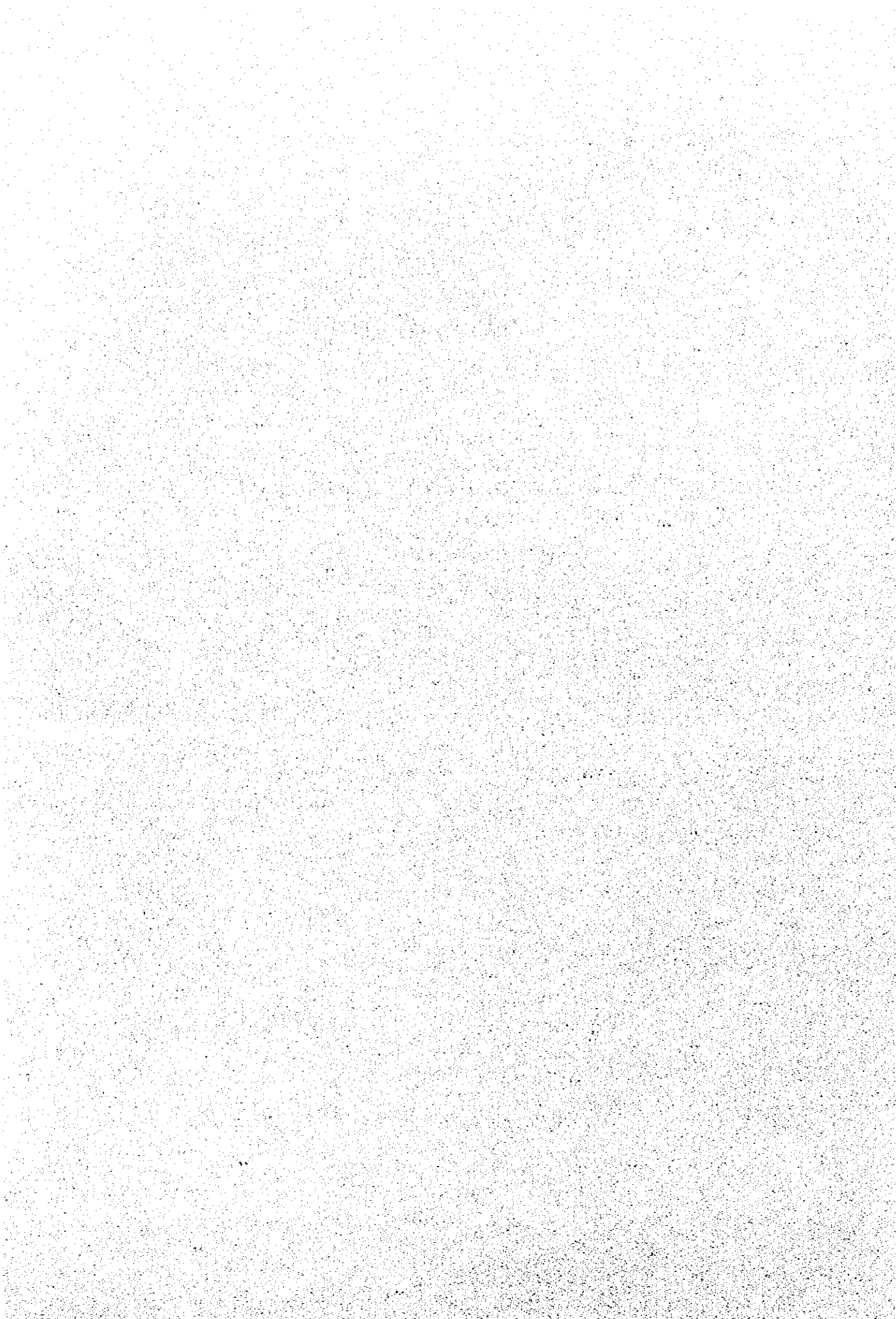
本巡回指導調査団は、1月15日に保健省において開催された合同調整委員会に参加した。

主要な報告・討議事項は以下のとおりであった。

- (1) 看護教育課長および SJGH 病院長からプロジェクトに関する進捗状況の報告があった。
- (2) スリ・ランカ側は無償資金協力と技術協力を混同して理解しているようであったため、日本側からそれぞれについて説明がなされた。技術協力に関しては、合同調整委員会、運営委員会、作業委員会があり、これらは無償資金協力で行われている学校建設にかかわる委員会とは異なることが了解された。
- (3) 大蔵省が運営委員会への参加を要請し、全員一致で了承した。
- (4) 学校長の選任は2月15日までになされること、学校長は SJGH で日本側のチームとともに活動し、その活動内容を保健省に報告することが確認された。
- (5) 新看護学校の学校長や教員が選任された後は、彼女らは運営委員会に参加することが確認された。
- (6) 長期専門家より、1998年度の計画が説明された。

附 属 資 料

- ① ミニッツ
- ② 合同調整委員会資料および出席者リスト
- ③ 専門家との打合せ資料



MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN THE JAPANESE ADVISORY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE DEMOCRATIC SOCIALIST REPUBLIC OF SRI LANKA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE NURSING EDUCATION PROJECT

The Japanese Advisory Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Dr. Yayoi Tamura, Director, national Center for Nursing Education and Research, Ministry of Health and Welfare, visited the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka from January 12 to 17, 1998 for the purpose of advising the activities concerning the Japanese Project-Type Technical Cooperation for the Nursing Education Project (hereinafter referred to as "the Project"), and discussing the future implementation plan of the Project.

During its stay, the Team exchanged opinions and had a series of discussions with the authorities concerned of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka about the activities and implementation of the Project.

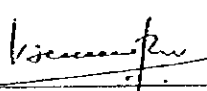
As the result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

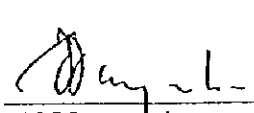
Colombo, January 16th, 1998

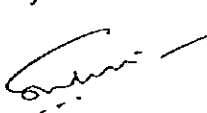
田村 やよひ

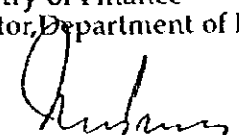
Yayoi Tamura
Leader, Japanese Advisory Team
Japan International Cooperation Agency



Christie Silva
Secretary,
Ministry of Health, Indigenous Medicine


V. Jeganathan
Director General, Health Services
Ministry of Health, Indigenous Medicine


J.H.J. Jayamaha
Ministry of Finance
Director, Department of External Resources


S.A.P. Gnanissara
Deputy Director General (ETR)
Ministry of Health, Indigenous Medicine


J.B. Peiris
Chairman
Sri Jayewardenapura General Hospital


N.C. De Costa
Director, Nursing Education
Ministry of Health, Indigenous Medicine

ATTACHED DOCUMENT

1. The Joint Coordinating Committee

The Joint Coordinating Committee was held on January 15th, 1998 at Ministry of Health, Indigenous Medicine to review the achievement of the Project and to discuss the future plan of action.

The summary of the discussion is as follows;

(1) It was decided to restrict the number of committees to 3. They are :

- i. Joint Coordinating Committee
- ii. Steering Committee
- iii. Operation Committee

There will be a separate committee which will look into the implementation of construction work.

(2) It was unanimously agreed to have Director Budget, Director External Resources, Deputy Director, National Planning in the Steering Committee.

(3) The Principal for the School of Nursing will be appointed by 15th February 1998. She will provide technical assistance to the project till the school becomes functional. She will work with the Japanese team at SJGH but will report to Deputy Director General (ETR) and Director of Nursing Education.

(4) Once the principal and the tutors are appointed to the school they should also be in the operation committee.

(5) The progress made so far from 1996 was presented. The future plan for 1998 in regard to training, ordering of equipment and construction was discussed.

(6) It was also decided that there should be good communication and dialogue with all concerned so that future delays in implementation can be overcome.

田
村

h z NEDeCo

II. Agreement

Both sides agreed on following matters regarding the implementation of the Project.

1. The Director of Nursing Education, Ministry of Health, Indigenous Medicine (MOH) shall take initiatives to achieve the project purpose as the main counterpart of the Japanese Chief Advisor.
2. The Director of Buildings, Administration & Logistics will assist the Director of Nursing Education for the coordination between MOH and the Project.
3. The Principal of new National School of Nursing , Sri Jayawardenapura shall be appointed by February 1998.
She/He should start working for the new school as soon as possible.
4. The new curriculum should be discussed with JICA Nursing Education Project and then finalize it.
5. The Steering Committee shall be held whenever necessary under the leadership of the Secretary of MOH. People who are relevant for the issues of discussion shall be called.
6. MOH shall allocate necessary budget for the preparation of the new school.
7. The modalities of managing financial and administrative matters will be worked out in detail at the steering committee meeting scheduled for 22nd January, 1998.
8. The new National School of Nursing , Sri Jayawardenapura should accept 100 students every year at the fixed time.
9. The present students of SJGH Nursing School can use the new National School of Nursing facilities. However they will be certified by the SJGH Nursing School.
10. The present tutors of SJGH Nursing School shall be shifted to the new National School of Nursing at its opening. SJGH will secure necessary tutors to continue the education of the present students.
11. MOH shall be responsible for the prompt custom clearances for the equipment from Japan.

田
村



h s.

h s. new

② 合同調整委員会資料および出席者リスト

JOINT COORDINATING COMMITTEE MEETING SRI LANKA NURSING EDUCATION PROJECT

DATE : 15th. Jan. 1998 10:00 AM
PLACE : Board Room Ministry of Health
CHAIRMAN : Secretary

PROGRESS OF PROCEEDINGS :

1. AN OPENING ADDRESSES

- I. SECRETARY
- II. RESIDENT REPRESENTATIVE OF JICA
- III. LEADER OF ADVISORY TEAM

2. INTRODUCTION

- I. TECHNICAL COOPERATION OF JICA (BY MS. ONO JICA)
- II. GRANT AID BY JAPANESE GOVERNMENT (BY MS. FUJIWARA JICA)
- III. SUMMARY OF PROJECT ACTION (MRS. DE COSTA DIRECTOR OF NURSING MOH)
- IV. CURRENT SITUATION OF PROJECT SITE (BY DR. LANEROLLE DIRECTOR SJGH)

3. ITEMS & PROBLEMS ON IMPLEMENTATION OF PROJECT ACTION (BY DR. S.A.P.GNANISSARA DDG, EXAMS. & TRAINING)

4. SUPPLEMENTARY EXPLANATION (JAPANESE SIDE)

5. COMMENTS

- I. BY LEADER OF ADVISORY TEAM
- II. BY DR KANAI, FIRST SECRETARY OF JAPANESE EMBASSY

6. A CLOSING ADDRESS (BY SECRETARY)

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION OF THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION

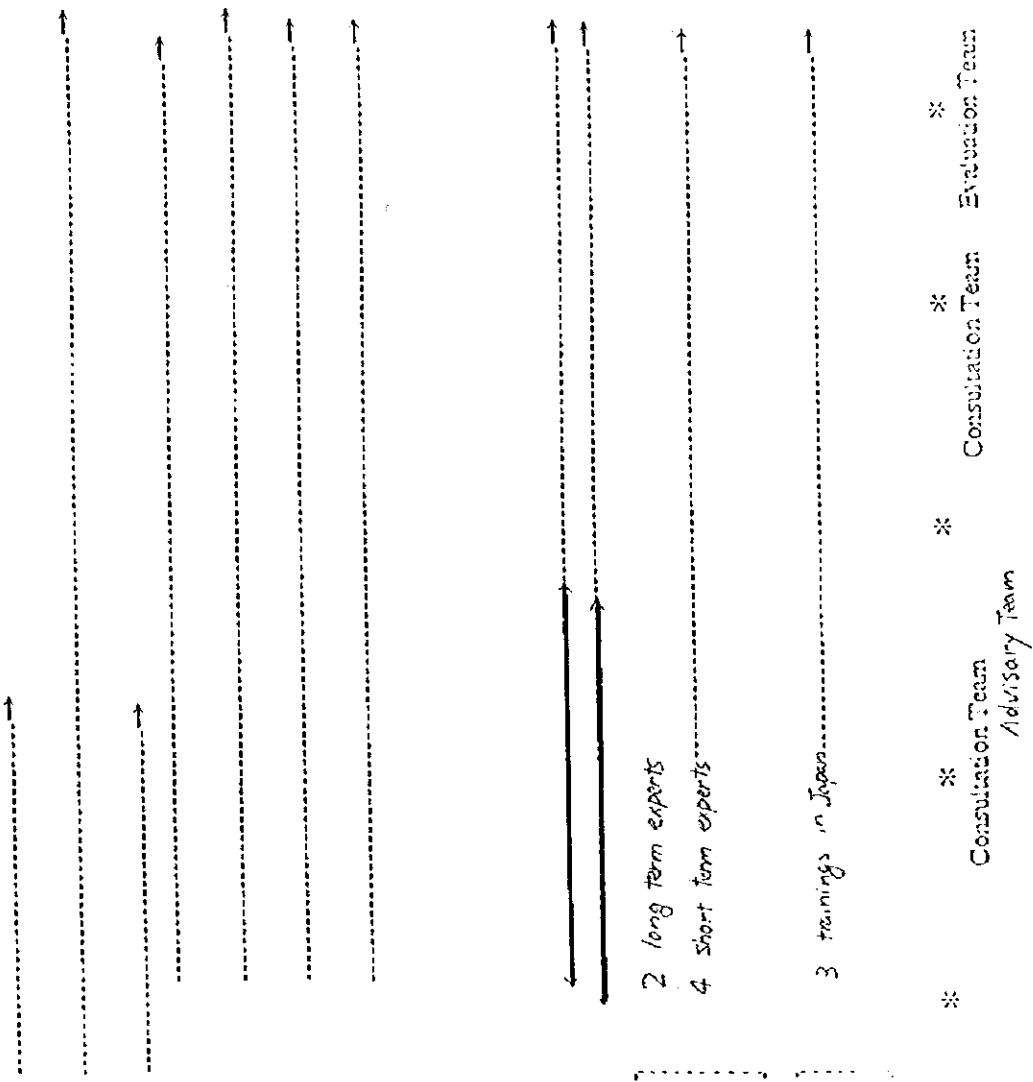
| | | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| YEAR I | YEAR II | YEAR III | YEAR IV | YEAR V |
| July, 96-Mar. 97 | Apr. 97-Mar. 98 | Apr. 98-Mar. 99 | Apr. 99-Mar. 00 | Apr. 00-Mar. 01 |

I. ACTIVITIES

1. To carry out basic study on nursing education of 10 nursing school
2. To evaluate substances of implementation based on the plan of school management
3. To draw up a vision of nursing school's own
4. To transfer new teaching methodology on nursing education
5. To carry out training in developing teaching materials
6. To provide equipments and materials for practical training
7. To provide reference books for library in nursing school

II. INPUTS BY JICA

1. Dispatch of Japanese Experts
 - A. Team Leader
 - B. Coordinator
 - C. Nurse of field in teaching methods
 - D. Nurse of field in clinical skills
 - E. Nurse of field drawing up the teaching materials for nursing education
 - F. Experts in other fields
2. Counterpart Training in Japan
 - A. Futors to study school management & teaching methods
 - B. Other fields as necessary
3. Provision of the equipment for Technical Cooperation
4. Japanese Mission to Sri Lanka



2 long term experts

4 short term experts

3 trainings in Japan

* Consultation Team Advisory Team

* Consultation Team

* Evaluation Team

TEMPORATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION OF THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION

| | YEAR I | YEAR II | YEAR III | YEAR IV | YEAR V |
|---|---|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | July 96-Mar. 97 | Apr. 97-Mar. 98 | Apr. 98-Mar. 99 | Apr. 99-Mar. 00 | Apr. 00-Mar. 01 |
| III. INPUTS BY SRI LANKA | | | | | |
| 1. Assignment of personnel | | | | | |
| A. Ministry of Health | | | | | |
| B. Sri Jayewardenapura General Hospital | | | | | |
| 2. Office space | | | | | |
| A. Ministry of Health | | | | | |
| B. Sri Jayewardenapura General Hospital | | | | | |
| 3. Annual Report | * | * | * | * | * |
| | Staffing in accordance with Nursing Education Project | | | | |

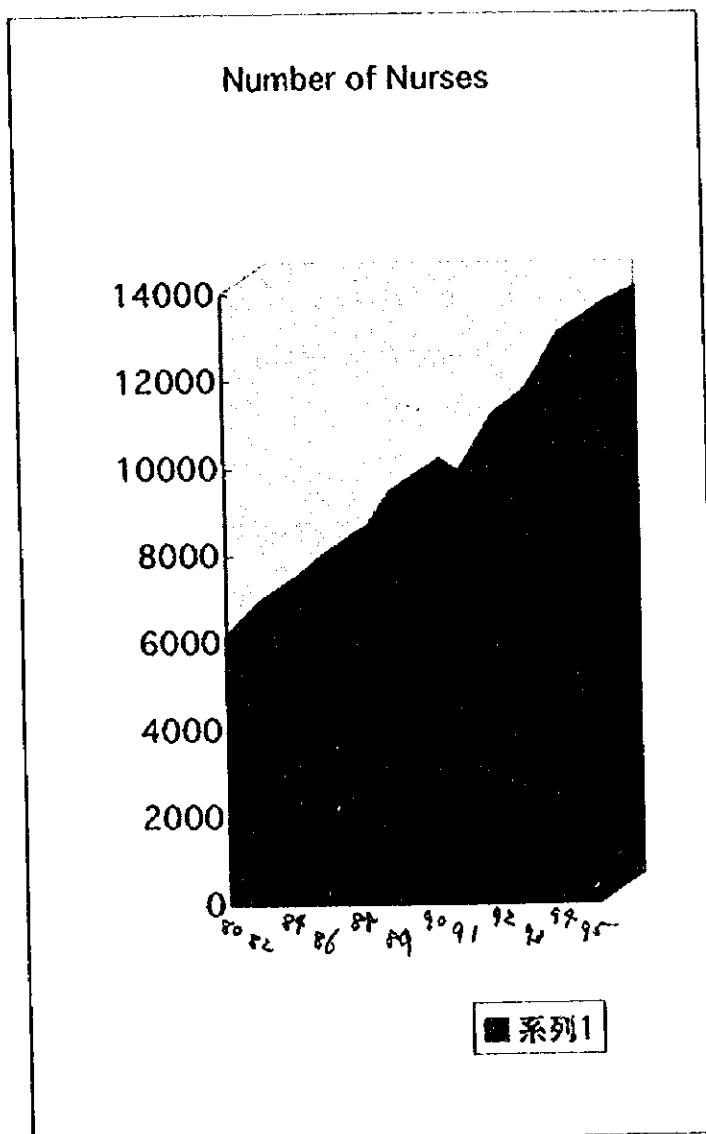
GRANT AID
(Building Construction)

*
FN for Detail Design Study

*
FN for Construction
Dec. 1997
Feb 1999
Construction

| year | nuress |
|-------|--------|
| 1980 | 6123 |
| 1982 | 6931 |
| 1984 | 7400 |
| 1986 | 8019 |
| 1988 | 8317 |
| 1989 | 9486 |
| *1990 | 8957 |
| 1991 | 9934 |
| 1992 | 11214 |
| 1993 | 11818 |
| 1994 | 13060 |
| 1995 | 13403 |

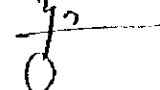


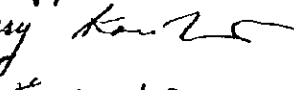



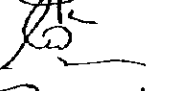
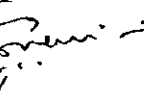
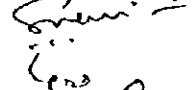
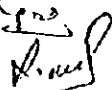
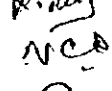
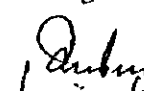
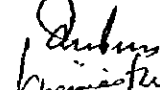
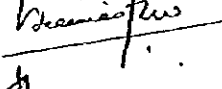
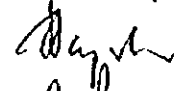

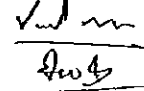
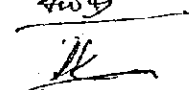
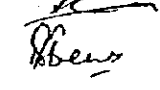
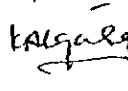
Nurses in Sri Lanka



*1990 excludes the Northern Province
 (ANNUAL HEALTH BULLETIN SRI LANKA 1994 et 1995)

ADVISORY TEAM FOR NURSING EDUCATION PROJECT IN SRI LANKA.
CO-ORDINATING COMMITTEE MEETING

DATE : 15th January, 1998.
 TIME : 10.00 a.m.
 PLACE : Ministry of Health

| <u>NAME</u> | <u>DESIGNATION</u> | <u>SIGNATURE</u> |
|----------------------------|--------------------------|--|
| 01. Christie Selvi | S/ M & IM |  |
| 02. C. Abyssinawardena | Addl Sec Health |  |
| 03. Yoshiaki Kam | JICA/R.R. |  |
| 04. KANAME KANAE, M.O. | Japanese Embassy |  |
| 05. Junko Fujiwara, Ms. | JICA/A.R.R. | 藤原 純子 |
| 06. K. A. L. Gunasinghe | Director Nursing (PHS) | Kalguner |
| 07. M. Dayananda. | Chief. Matron SSGH |  |
| 08. Mrs. K. Veltham | DN HS. |  |
| 09. Premalal Lijanase | DCS |  |
| 10. D. K. S. De Silva | DN HS |  |
| 11. T. M. K. S. Tennakoon | DDG (A&L) |  |
| 12. Dr. S. A. P. Gunawansa | DDG (ETR) |  |
| 13. W. A. S. Mahem | DD (NPD) |  |
| 14. Dr. D. L. de Lanivally | Director. |  |
| 15. Mr. N. C. De Costa | DN B |  |
| 16. Dr. G. B. Perera | Chairman, SSGH |  |
| 17. DR. V. JEGANATHAN | DGHS |  |
| 18. J. H. J. Jayaniche | D/O RD |  |
| 19. G. P. Abeykenth | D/O Budget |  |
| 20. G. J. Laksanapala | DN MSD |  |
| 21. I. W. Gunawardena | Matron SSGH |  |
| 22. S. A. W. Perera. | Matron SSGH. |  |
| 23. Dr. H. S. B. Perera | Direct/PHS |  |
| 24. K. A. L. Gunasinghe | Director (Nursing (PHS)) | Kalguner |

③ 専門家との打合せ資料

I N T E R N A L M E E T I N G

日時 : 14th JAN. 1998 9:30~15:00 (予定)

場所 : Hotel Trans Asia (2階)

| | | |
|----------------|--------------|-----------|
| 出席者: 巡回指導調査団 | 団長 田村 やよひ | (敬称略) |
| | 団員 石平 正子 | |
| | 団員 大野 ゆかり | |
| スリランカ JICA 事務所 | 藤原 純子 | |
| 看護教育課長 (MOH) | Ms. De Costa | (11時から参加) |
| 日本大使館 | Dr. 金井 要 | (昼食時参加) |
| 看護教育プロジェクト | 佐々木 正子 | |
| | 小林 繁郎 | |
| | 樋口 まち子 | |
| | 大野 夏代 | |

議題 :

I. 情報交換・意見交換

1. プロジェクト活動の実態
2. プロジェクト活動の問題点、課題等
3. プロジェクト活動の円滑な推進

II. Ms. De Costa 看護教育課長との情報交換・意見交換

III. 対処方針事項の検討

IV. 短期専門家 Dr. 森の活動内容について

V. その他

看護教育プロジェクト巡回指導調査団との打ち合わせ資料

I. 1997年度プロジェクト活動計画

A. ベースライン・サーベイ

SJGH看護学校を含む11校の看護学校を対象とした調査結果は別添資料1を参照。

B. 看護学校設置準備活動

1. 各種委員会の開催

作業委員会 (Operation Committee) は、昨年末までに月1回の割合で8回開催された。作業委員会の下に2つのSub-Operating Committee (Nursing School Side, Hospital Side) を設けて教員や実習指導者の意見や声が作業委員会の場での確に反映されるようにした。また、新カリキュラムによる図書選定の必要性から図書準備委員会 (Preparatory Committee For Establishing Library) を発足させた。別添資料2参照。

2. 実習病院の看護および実習指導・看護学校の実習指導の実態把握

看護学校設置 (モデル校) 準備活動の一貫として、現カリキュラムに基づき、実習指導がどのように行われているか、実態把握に努めてきた。

3. カリキュラム検討

新カリキュラムの原案が保健省看護課で完成し、この原案に基づきプロジェクトで内容を検討して保健省と協議する予定である。別添資料3参照。

C. ワークショップセミナー開催

第1回 1997年5月26日～5月31日

第2回 1997年11月10日～11月13日 別添資料4参照

D. 専門家派遣

1997年7月4日に樋口まち子専門家 (長期) が地域保健の分野で着任し、長期専門家は合計4名となる。短期専門家は第1回のワークショップセミナー開催時に兵庫県立看護大学から3名の教官が講師として着任した。また、第2回のワークショップには筑波大学から森専門家が講師として着任した。別添資料5参照。

E. カウンターパート研修

1997年10月にSJGHの院長であるDr. De Lanerolleが学校運営の分野で日本で研修した (15日間)。もう1名はラトナブラ看護学校の教員のMs. S. Kalahearachchiが看護教育の分野で今年の3月に研修予定。別添資料6参照

F. 機材供与

1996年度分の機材は通関に時間がかかり、やっと昨年末に各看護学校への配分が開始された。別添資料7参照。

II. 1998年度プロジェクト活動予定 (別添資料8参照)

1. 看護学校開設準備

2. 中堅技術者養成のワークショップセミナー開催

3. 教授開発法の技術移転 (講義・演習・臨床実習・教材)

4. 看護学校と実習病院の実態調査 (カリキュラム改善)

5. 専門家派遣 別添資料9参照

6. 機材供与 別添資料10参照

7. カウンターパート研修 別添資料11参照

III. プロジェクト実施上の問題点 別添資料12参照

1. プロジェクト実施期間の保健省の対応

2. カリキュラムに対するプロジェクトの関わり方

3. 機材供与の通関手続きの遅延

4. SJGH国立看護学校開校準備体制

5. 既存のSJGH看護学校と国立看護学校との関連性

6. ワークショップセミナー開催のスリランカ側の年次負担額

合同調整委員会

スリランカ看護教育プロジェクト

日時：1998年1月15日 午前10:00

場所：保健省 保健次官室

委員長：保健省 保健次官

議 事 進 行：

- I. 1997年度プロジェクト活動報告
- II. 1998年度プロジェクト活動予定
 1. 総括-MRS. DE COSTA (保健省看護教育課長)
 2. 現状報告-Dr. DE LANEROLLE (スリジャヤワルダナプラ病院長)
- III. プロジェクト実施上の問題点
 1. Dr. S. A. P. GNANISSARA (保健省試験研修課副局長)

IV. 補足説明
日本側

**JOINT COORDINATING COMMITTEE MEETING
SRI LANKA NURSING EDUCATION PROJECT**

DATE: 15th. Jan. 1998 10:00AM

PLACE: SECRETARY OFFICE, MINISTRY OF HEALTH

CHAIRMAN: SECRETARY

PROGRESS OF PROCEEDINGS:

I. ACTIVE REPORT ON NURSING EDUCATION PROJECT FOR 1997 FISCAL YEAR

II. ANUAL PLAN ON NURSING EDUCATION PROJECT FOR 1998 FISCAL YEAR

1. SUMMARY: MRS. DE COSTA (DIRECTOR OF NURSING EDUCATION, MOH)

2. CURRENT SITUATION OF PROJECT SITE: DR. D. L. DE LANEROLLE (DIRECTOR OF SJGH)

III. POINT AT THE ISSUE FOR IMPLEMENTING PROJECT

Dr. S. A. P. GNANISSARA (DDG-EXAMS. & TRINING)

IV. SUPPLEMENTARY EXPLANATION

JAPANESE SIDE

As of Jan. 1997

STAFF AT SCHOOLS OF NURSING

| SCHOOL OF NURSING | NURSING STUDENTS ON REGISTER | STAFF | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------|-----------|----------------|---------------|--------|--------|--------|------------|---------|--------|-------------------|---------|-------|-------------|
| | | PRINCIPAL | VICE PRINCIPAL | SENIOR TUTORS | TUTORS | CLERKS | TYPIST | LIBRARIANS | ORDERLY | DRIVER | OFFICE ASSISTANTS | WARDENS | COOKS | OTHER STAFF |
| 1. School of Nursing (Colombo) | 251 | 1 | 1 | | 10 | 3 | 1 | 1 | | | | | | |
| 2. School of Nursing (Galle) | 158 | 1 | 1 | 1 | 6 | 3 | 1 | | | | 4 | | 2 | |
| 3. School of Nursing (Kandy) | 141 | 1 | 1 | 1 | 12 | 2 | 1 | | | 1 | 7 | | | |
| 4. School of Nursing (Kurunegala) | 142 | 1 | | | 9 | 2 | 1 | | | | | | | |
| 5. School of Nursing (Sri Jh) | 45 | 1 | | 1 | 2 | 1 | | 1 | | | | | | |
| 6. School of Nursing (Badulle) | 72 | 1 | | | 7 | 4 | | | | | | | | |
| 7. School of Nursing (Anuradhapura) | 113 | 1 | | | 4 | 3 | 1 | | | | | | | |
| 8. School of Nursing (Batticaloa) | 72 | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 9. School of Nursing (Jaffna) | 54 | 1 | | | 2 | 2 | 1 | | | | 2 | 2 | 6 | |
| 10. School of Nursing (Kandana) | 116 | 1 | | | 8 | 1 | 1 | | | | | | | |
| 11. School of Nursing (Ratnapura) | 94 | 1 | | | 7 | 2 | 1 | | | 2 | 3 | 3 | 14 | |
| 12. School of Nursing (Mulleriyawa) | - | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | |

LIBRARY

As of Jan. 1997

| SCHOOL OF NURSING | TOTAL NUMBER OF BOOKS |
|---|-----------------------|
| 1. School of Nursing(Colombo) | 1 6 0 9 |
| 2. School of Nursing(Galle) | 1 4 3 9 |
| 3. School of Nursing(Kandy) | 6 5 5 |
| 4. School of Nursing(Kurune- gala) | 1 0 0 5 |
| 5. School of Nursing(SJGH) | 5 9 3 |
| 6. School of Nursing(Badulla) | 1 0 7 5 |
| 7. School of Nursing(Anura- dhapura) | 6 3 5 |
| 8. School of Nursing (Batticaloa) | Data not available |
| 9. School of Nursing(Jaffna) | 1 6 7 |
| 10. School of Nursing (Kandana) | 5 6 0 |
| 11. School of Nursing(Ratna- pura) | 1 0 0 1 |
| 12. School of Nursing (Mulleriyawa) | 1 0 4 5 |

NUMBER OF EQUIPMENT IN SCHOOLS OF NURSING - ①

As of Jan. 1997

| SCHOOL OF NURSING | SPECIMEN & MODEL | CHAIRS | NURSING MATERIAL & EQUIPMENT | | CHEMICAL PRACTICE EQUIPMENT | COOKING PRACTICE EQUIP. |
|-------------------------------------|--------------------|--------|------------------------------|-----------|-----------------------------|-------------------------|
| | | | KIND | TOTAL NO: | | |
| 1. School of Nursing (Colombo) | 7 | 10 | 43 | 220 | 52 | 1 |
| 2. School of Nursing (Galle) | 30 | 31 | 42 | 108 | 61 | 4 |
| 3. School of Nursing (Kandy) | 26 | 0 | 41 | 128 | 28 | 6 |
| 4. School of Nursing (Kurunegala) | 5 | 0 | 29 | 153 | 20 | 7 |
| 5. School of Nursing (SJKI) | 13 | 10 | 14 | 53 | 20 | 8 |
| 6. School of Nursing (Badulla) | 14 | 0 | 32 | 118 | 27 | 8 |
| 7. School of Nursing (Anuradhapura) | 23 | 10 | 24 | 57 | 80 | 2 |
| 8. School of Nursing (Ratticaloa) | Data not available | - | - | - | - | - |
| 9. School of Nursing (Jaffna) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10. School of Nursing (Kandana) | 23 | 19 | 36 | 168 | 140 | 16 |
| 11. School of Nursing (Pitnapura) | 12 | 18 | 25 | 92 | 13 | 110 |
| 12. School of Nursing (Mulleriyawa) | 1 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 |

NUMBER OF EQUIPMENT IN SCHOOLS OF NURSING - ②

As of Jan. 1997

| SCHOOL OF NURSING | AUDIO-VISUAL EQUIPMENT | OFFICE EQUIPMENT | MICROBUS |
|-------------------------------------|------------------------|------------------|----------|
| 1. School of Nursing(Colombo) | 8 | 5 | 0 |
| 2. School of Nursing(Galle) | 7 | 7 | 0 |
| 3. School of Nursing(Kandy) | 10 | 19 | 1 |
| 4. School of Nursing(Kurune-gala) | 7 | 10 | 0 |
| 5. School of Nursing(SJGf) | 4 | 4 | 0 |
| 6. School of Nursing(Badulla) | 10 | 12 | 0 |
| 7. School of Nursing(Anura-dhapura) | 5 | 9 | 0 |
| 8. School of Nursing (Batticaloa) | Data not available | | - |
| 9. School of Nursing(Jaffna) | 0 | 0 | 0 |
| 10. School of Nursing (Kandana) | 6 | 13 | 0 |
| 11. School of Nursing(Ratna-pura) | 13 | 12 | 0 |
| 12. School of Nursing (Mulleriyawa) | 4 | 6 | 0 |

DATA OF PRACTICAL INSTITUTION (HOSPITAL)

As of Jan. 1997

| SCHOOL OF NURSING | PRACTICAL INSTITUTION (HOSPITAL) | TOTAL NO. OF BEDS | MEDICAL DOCTORS | DENTISTS | NURSES | MIDWIVES | P.H. NURSES | NURSE AIDES | PHARMACIST | X-RAY TECHNICIEN | LAB. TECHNICIEN | NUTRITIONIST | ADMINIS. STAFF | OTHERS |
|-------------------------------------|---|-------------------|-----------------|----------|--------|----------|-------------|-------------|------------|------------------|-----------------|--------------|----------------|--------|
| 1. School of Nursing (Colombo) | National Hospital, Sri Lanka | 2786 | 605 | NIL | 1510 | NIL | NIL | NIL | 57 | 60 | 60 | 02 | 152 | |
| 2. School of Nursing (Galle) | Teaching Hospital, Karapitiya | 1035 | 149 | 9 | 480 | NIL | NIL | NIL | 25 | 8 | 27 | NIL | 45 | |
| 3. School of Nursing (Kandy) | General Hospital, Kandy | 1625 | 281 | 22 | 1008 | 42 | NIL | NIL | 31 | 25 | 33 | 01 | 100 | 13 |
| 4. School of Nursing (Kurunegala) | Teaching Hospital, Kurunegala | NIL | 120 | 9 | 459 | 67 | NIL | NIL | 23 | 6 | 23 | NIL | 1 | 22 |
| 5. School of Nursing (Sri Galle) | Sri Jayawardanepure General Hospital, Nugegoda. | 1001 | 162 | NIL | 460 | NIL | 2 | NIL | 18 | 9 | 34 | 01 | 134 | |
| 6. School of Nursing (Badulla) | General Hospital, Badulla. | 830 | 50 | 7 | 280 | 24 | NIL | NIL | 15 | 5 | 13 | NIL | 2 | 198 |
| 7. School of Nursing (Anuradhapura) | General Hospital, Anuradhapura. | 1025 | 81 | 4 | 335 | 26 | NIL | NIL | 19 | 6 | 16 | NIL | 5 | 25 |
| 8. School of Nursing (Batticaloa) | General Hospital, Batticaloa | 618 | 94 | 6 | 202 | 13 | NIL | NIL | 9 | 3 | 7 | NIL | 2 | |
| 9. School of Nursing (Jaffna) | Teaching Hospital, Jaffna | 1015 | 44 | 3 | 287 | 13 | NIL | NIL | 21 | 3 | 13 | NIL | 25 | 261 |
| 10. School of Nursing (Kandana) | Colombo North Hospital, Ragama | 1100 | | 7 | 460 | 37 | NIL | NIL | 20 | 10 | NIL | NIL | NIL | |
| 11. School of Nursing (Ratnapure) | General Hospital, Ratnapure | 898 | 72 | 4 | 292 | 28 | NIL | NIL | 14 | 4 | 14 | NIL | 12 | - |
| 12. School of Nursing (Mulleriyawa) | Mental Hospitals - Mulleriyawa & Angoda. | 2013 | 12 | NIL | 89 | NIL | NIL | NIL | 3 | NIL | 1 | NIL | 10 | 3 |

PRACTICAL INSTITUTION (HOSPITAL)

As of Jan. 1997

| SCHOOL OF NURSING | PRACTICAL INSTITUTION (HOSPITAL) | NUMBER OF WARDS | NO. OF PRACTICE WARDS | CLINICAL INSTRUCTORS |
|-------------------------------------|---|-----------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. School of Nursing(Colombo) | National Hospital, Sri Lanka | 30 | 30 | 10 |
| 2. School of Nursing(Galle) | Teaching Hospital, Karapitiya | 30 | 30 | 09 |
| 3. School of Nursing(Kandy) | General Hospital, Kandy | 48 | 44 | 16 |
| 4. School of Nursing(Kurunegala) | Teaching Hospital, Kurunegala | 33 | 20 | 10 |
| 5. School of Nursing(SJGH) | Sri Jayawardenepure General Hospital, Nugegoda. | 16 | 6 | 6 |
| 6. School of Nursing(Badulla) | General Hospital, Badulla. | 28 | 28 | 6 |
| 7. School of Nursing(Anuradhapura) | General Hospital, Anuradhapura. | | 21 | 21 |
| 8. School of Nursing (Batticaloa) | General Hospital, Batticaloa | 24 | 18 | 06 |
| 9. School of Nursing(Jaffna) | Teaching Hospital, Jaffna | | 15 | 15 |
| 10. School of Nursing (Kandana) | Colombo North Hospital Ragama | 29 | 20 | 5 |
| 11. School of Nursing(Ratnapura) | General Hospital, Ratnapura | 20 | 20 | all nurses supervise |
| 12. School of Nursing (Mulleriyawa) | Mental Hospitals- Mulleriyawa & Angoda. | Angoda- 27 | 27 | all nurses supervise. |

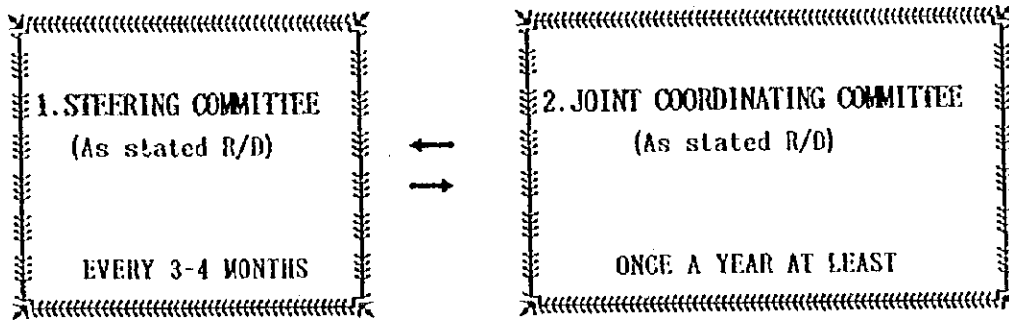
看護学校開設準備に関わる各委員会概要

| 名称 | メンバー構成 | 会議開催回数 | 討議内容 |
|--|--|--------------------------|--|
| 作業委員会 OPERATION COMMITTEE | 保健省看護課長 SJGH病院長 SJGH看護部長 SJGH看護学校教員 プロジェクトチーム JICA事務所員 保健省供給管理課長 大蔵省人材開発課長 (必要時) | 8回 (月1回) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開校準備に必要な活動内容の提示 2. 組織・予算・人員・実習病院・看護教育機材 カリキュラムの作成等の討議および確認 3. 諸規定の作成 <ol style="list-style-type: none"> a. 学則 b. 学生寮規定 c. 看護実習室利用規定 d. 図書室利用規定 e. 健康管理規定 f. 教員会議及び講師会議規定 (予定) 4. 業務分掌の検討 5. 図書準備委員会設置 6. ホームルームのシステム導入の是非 |
| 小作業委員会 SUB-OPERATION COMMITTEE (NURSING SCHOOL SIDE) | SJGH看護学校教員 プロジェクトチーム | 7回 (最低月2回) | 作業委員会で承認を得るための原案作成 |
| 小作業委員会 (HOSPITAL SIDE) | SJGH看護学校教員 SJGH実習指導者 プロジェクトチーム | 1回 (臨床実習の場で 随時開催) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護教育プロジェクト活動の理解と認識 2. 実習病院、実習指導者の認識 3. 実習指導者連絡会議の設置 4. 実習病棟での技術指導開始の認識 |
| 図書設置準備委員会 (PREPARATORY COMMITTEE FOR ESTABLISHING LIBRARY) | SJGH看護学校教員 プロジェクトチーム PBS司書 | 1回 (定期的な会議の他 随時準備) | 図書・学術雑誌等のリストアップ |

LIST OF COMMITTEE ON ESTABLISHMENT OF NURSING SCHOOL

| NAME | MEMBER OF COMMITTEE | TIMES | CONTENTS OF DISCUSSION |
|--|---|--------------------|--|
| OPERATION COMMITTEE | DIRECTOR OF NURSING(MOH) DIRECTOR OF SJGH CHIEF MATRON OF SJGH TUTORS OF SJGH DIRECTOR OF LOGISTIC(MOH) STAFF OF JICA OFFICE DIRECTOR OF ERD(MOF) PROJECT TEAM | 8 1/M | 1. PROPOSAL OF ACTIVE CONTENTS FOR ESTABLISHING SCHOOL 2. DISCUSSION & CONFIRMATION ON ORGNIZATION, BUDGET, MANPOWER, PRACTICE HOSPITAL, NURSING MATERIAL AND PREPARATION OF CURRICULUM 3. PREPARATION OF REGULATIONS a. SCHOOL REGULATIONS b. REGULATION OF STUDENT QUARTERS c. REGULATIONS OF DEMOSTRATION ROOM USAGE d. REGULATIONS FOR USING THE LIBRARY e. REGULATIONS FOR HEALTH MAINTENANCE f. TUTORS' MEETING & VISITING LECTURERS' MEETING 4. EXAMINATION OF WORK CRITERIA 5. ESTABLISHMENT OF PREPARATIVE LIBRARY COMMITTEE 6. RIGHT OR WRONG OF HOME ROOM SYSTEM |
| SUB-OPERATION COMMITTEE (NURSING SCHOOL SIDE) | TUTORS OF SJGH PROJECT TEAM | 7 2/M | PREPARATION OF ORIGINAL PLAN FOR APPROVING OF OPERATION COMMITTEE |
| SUB-OPERATION COMMITTEE (HOSPITAL SIDE) | TUTORS OF SJGH PRACTICAL INSTRUCTOR OF SJGH PROJECT TEAM | 1 (AT ANY TIME) | 1. UNDERSTANDING & RECOGNITION TO THE ACTIVITY OF NURSING EDUCATION PROJECT 2. RECOGNITION OF PRACTICE HOSPITAL & PRACTICE INSTRUCTOR 3. ESTABLISHMENT OF CONNECTION MEETING FOR PRACTICE INSTRUCTOR 4. RECOGNITION OF START OF TECHNICAL TEACHING IN PRACTICE WARD |
| PREPARATORY COMMITTEE FOR ESTABLISHING LIBRARY | TUTORS OF SJGH PBS LIBRARIAN PROJECT TEAM | 1 (AT ANY TIME) | PREPARATION OF LIST ON BOOKS |

ORGANIZATION AND COOPERATION WITH MEETINGS



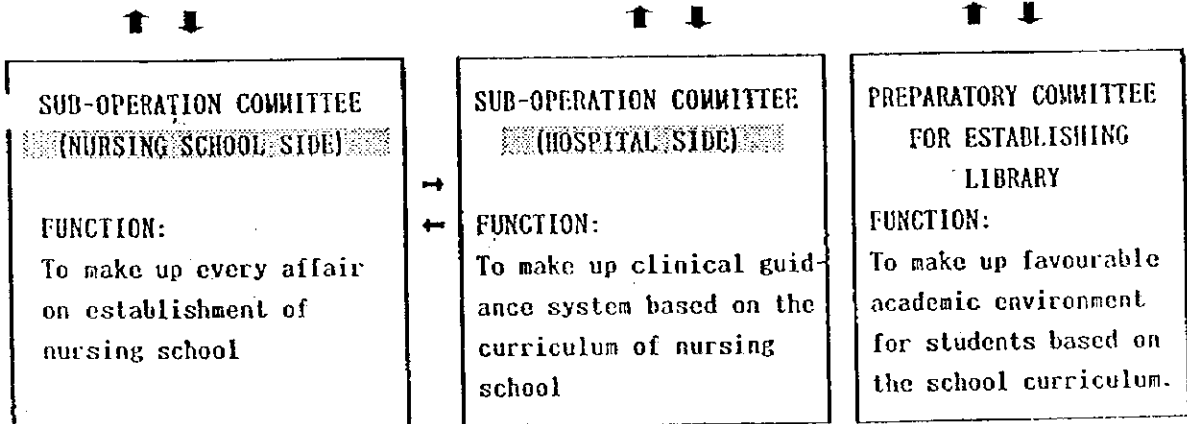
↓
STUDY ON THE IMPORTANT MATTER

CONFIRMATION OF THE PROGRESS

↑
REPORT ON THE SITUATION

OPERATION COMMITTEE

FUNCTION: TO DISCUSS AND TO APPROVE THE ISSUES MADE UP AT THE SUB OPERATION COMMITTEE



1. Report on the situation

2. Contract adjustment

**Comparison between Sri Lanka and Japan on curriculum
for three year programmes in Nursing**

| | Sri Lanka | Japan |
|----------------------|-----------|-------|
| Lecture | 1,951 | 1,815 |
| Clinical Practice | 5,232 | 1,035 |
| Field training | 480 | |
| Electives | | 150 |
| Total | 7,663 | 3,000 |

(Hours)

Sources : Master plan of curriculum, Ministry of Health 1996
Nursing in Japan , Japanese Nursing Association 1996

* Field training includes psychiatric nursing in Angoda and Mulleriyawa and community practice

**Comparison between previous curriculum and revised
Curriculum for three year programme in Nursing of Sri Lanka**

| Subjects | | Hours | | |
|-----------------------------------|--|----------------------------|--------------|--------|
| | | Sri Lanka | Japan | |
| <u>Basic Subject</u> | Sociology | 45 | - | |
| | General Science | 60 | - | |
| | Psychology | 45 | - | |
| | Humanities | - | 60* | |
| | Social Science | - | 60* | |
| | Natural Science | - | 60* | |
| | Physical Education | - | 60 | |
| | English | 100 | 120 | |
| | <i>Subtotal</i> | <i>250</i> | <i>360</i> | |
| | <u>Professional Subject</u> | Anatomy & Physiology | 140 | 120 |
| Microbiology | | 60 | 45 | |
| Public Health | | 114 | 30 | |
| Nutrition | | 96 | 30 | |
| Pharmacology | | 74 | 45 | |
| Pathology | | 20 | 75 | |
| Introduction to Medicine | | - | 30 | |
| Social Welfare | | - | 30 | |
| Health-related Laws & Regulations | | - | 30 | |
| Biochemistry | | - | 30 | |
| Mental Health | | - | 45 | |
| <i>Subtotal</i> | | <i>504</i> | <i>510</i> | |
| <u>Nursing</u> | | Fundamentals of Nursing | 245 | 300** |
| | | Medical & Surgical Nursing | 350 | 315*** |
| | Mental Health & Psychiatric Nursing | 235 | - | |
| | Maternal & child health and Gynaecological Nursing | 175 | - | |
| | Nursing Ethics & Professional Adjustment (Work shop) | 22 | - | |
| | History of Nursing | 88 | - | |
| | Ward Management | 32 | - | |
| | Paediatrics Nursing | - | 120**** | |
| | Maternal Nursing | - | 120***** | |
| | Gerontological Nursing | - | 90 | |
| | <i>Subtotal</i> | <i>1,197</i> | <i>945</i> | |
| | Electives | | 150 | |
| | Grand Total | 1,951 | 1,965 | |

The Curriculum structure in Japan is different from Sri Lanka. The differences are as follows:

* Each subject consists of two related subjects in Japan. Sociology, Psychology and General Science also are being taught consequently in all nursing schools of Japan.

** Nursing Ethics & Professional Adjustment, History of Nursing and Ward Management are included in Fundamentals of Nursing.

*** Psychiatric Nursing is included in Medical & Surgical Nursing.

**** Maternal & child health is included both in Paediatric nursing and Maternal Nursing.

***** Gynaecological Nursing is included both in Fundamentals of Nursing and Surgical Nursing.

**Comparison between previous curriculum and revised
Curriculum for three year programme in Nursing of Sri Lanka**

| Subjects | | Hours | | |
|-------------------------|--|----------|----------|-------|
| | | Previous | Revised | |
| Basic Subject | Sociology | 45 | 45 | |
| | General Science | 60 | 60 | |
| | Psychology | 45 | 45 | |
| | English | 100 | 100 | |
| Subtotal | | 250 | 250 | |
| Professional Subject | Anatomy & Physiology | 130 | 140 | |
| | Microbiology | 56 | 60 | |
| | Public Health | 104 | 114 | |
| | Nutrition | 92 | 96 | |
| | Pharmacology | 74 | 74 | |
| | Pathology | 20 | 20 | |
| Subtotal | | 476 | 504 | |
| Nursing | Fundamentals of Nursing | 235 | 245 | |
| | Medical & Surgical Nursing | 330 | 350 | |
| | Mental Health & Psychiatric Nursing | 235 | 235 | |
| | Maternal & child health and Gynaecological Nursing | 105 | 175 | |
| | Nursing Ethics & Professional Adjustment (Work shop) | 30 | 22 88 | |
| | History of Nursing | 42 | 50 | |
| | Ward Management | 32 | 32 | |
| | Subtotal | | 1,009 | 1,197 |
| | Grand total | | 1,735 | 1,951 |

Placement of subject for three year programme in Nursing

| | First Year | | | Second Year | | | Third Year | | | (Weeks) |
|--|------------|-------|-------|-------------|-------|-------|------------|-------|-------|---------|
| | 0 | 24 | 48 | 72 | 96 | 120 | 144 | | | |
| Sociology | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Science | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Psychology | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| English | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Anatomy & Physiology | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Microbiology | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Community Health | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Nutrition | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Pharmacology | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Pathology | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Fundamentals of Nursing | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Medical & Surgical Nursing | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Mental health & Psychiatric Nursing | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Maternal & child health and Gynaecological Nursing | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Nursing Ethics & Professional Adjustment | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| History of Nursing | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| Ward Management | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |

----- Lecture will be conducted a part of the period

----- Lecture will be conducted during this period

スリランカ国立看護学校3年課程新旧カリキュラムの比較

1998年1月現在

概略

スリランカ国立看護学校は、1975年に作成されたカリキュラムに基づいて、看護教育を実施していたが、今回、23年ぶりにカリキュラムが改訂されることになった。保健省の看護課長が中心となり、WHO よりカリキュラムに関するコンサルタントを招き、各国立看護学校の校長、教育主事（教務主任）クラスが一同に会し、一週間にわたりカリキュラムの改訂に関する話し合いが行われ、第一案がまとまった。同カリキュラムの実施に当たっては、国立スリジャヤワルダ看護学校がスタートすることから、看護教育プロジェクトを含み、さらなる検討が必要となるが、新旧カリキュラムの3年間全体の相違点を述べると以下の通りである。

1. 講義理念

旧カリキュラムの教育理念が単に WHO の健康の定義を用い、教育理念と言うよりは科目の説明にとどまっていたのに対し、新カリキュラムの講義理念は、かなり充実したものとなっている。まず、看護そのものの到達目標を幅広い視点で述べたあと、その看護理念を実現するために看護学生に与えられる教育はいかにあるべきか、そしてカリキュラムはどのような役割を担うのか、さらに教育の受け手である学生は専門職としてどんなことが期待されているのかを挙げている。最も特徴的なのは、カリキュラムを日本でも最近取り上げられている批判的思考方法 (Critical thinking) による自己開発と自己学習、卒後教育につなげるものとして捉えていることである。さらに、看護学生が、看護教育を通して (1) Health Care Facilitator、(2) Health Care Promoter (3) Health Care Giver としての役割を担うことが出来るようになることも看護教育の目的として規定し、看護の対象にあわせてそれぞれの看護の役割を如何に果たしていくかを具体的に明記している。

カリキュラム全体の概念の枠組み (Conceptual Framework) が立体的手法を用いて展開されており、今回のカリキュラム改訂に当たっては、WHO の看護理念や西洋諸国で看護教育を受けた人々の看護理論がかなり反映されていると見ることができる。

2. 教科編成及び時間数

全体の講義時間は、1、735時間から1、951時間と216時間増加している。内訳を見ると、基礎科目の時間数に変化はないが、専門科目で地域保健学が10時間増えたのが特徴的であるが、これは、家族計画、家族理解等の科目が地域保健学に含まれたことによる。看護学関係では、成人看護学から婦人科看護をはずし、小児・母性看護に加え、時間数も70時間増加した。基礎看護学および成人看護学ともICU看護及び救急看護法を充実させているのが特徴的である。また、看護倫理学では軍・警察機関、民間病院、事業所等での2週間に課外授業を通して、看護が社会に果たす役割を機会を新たに設けている。

3. カリキュラムの内容

各教科とも教科の概要を明確に記載し、各教科が看護の専門性を生かすために如何に連携しているかを分かりやすく説明しているのが特徴である。各教科の参考文献を刷新させている。また、学生の知識レベルに合わせた講義をするために講義開始以前に学生の既存の知識を把握するためにプレテストがなされるのも新たな試みである。教授方法としては、旧カリキュラムが講義及びグループワークが中心であったのに対して、新カリキュラムでは講義の他に、グループワーク、ロールプレイ、デモンストレーション及び関連施設の訪問見学などを取り入れて立体的になっている。

以下、旧カリキュラムと比較して、内容を大きく改善させたものについて述べる。

(1) 基礎科目

基礎科目の講師は従来、看護職（看護学校講師）が担当していたが、新カリキュラムでは、看護職及び心理学は心理学者、社会学は社会学者が共同で講義を担うことになる。

(2) 専門科目

地域保健の科目の目的は、旧カリキュラムの目的が看護職対看護の対象という構図から、地域住民の健康の維持増進のため、地域の関係機関との連携を図りながら、各地域の既存の資源を有効に活用し、住民参加型の健康グループの育成に携われる看護婦を育成するというWHOが掲げるプライマリー・ヘルス・ケアの理念を踏襲したものとなっている。さらに、施設内患者の社会復帰と継続看護の理解と援助を加えてい

る。これらの新たな目的達成を評価するために、地域調査を評価内容に加えたのが特徴的である。

(3) 看護学関係科目

基礎看護学の教授方法に従来なかった学内での実習を謳っているのが特徴的である。教科の目的は、教師が一方的に知識を伝達するのではなく、学生の主体性と潜在的能力を尊重していくという色彩を帯びている。また、看護の知識の範囲が医療施設のみにとどまるのではなく、患者を取り巻く家族や地域をも対象にして、看護の知識を生かしていくことを明確にしている。退院指導の充実、さらに、患者や家族に対する健康教育の意義を学ぶことを新たに謳っている。

4. まとめ

新カリキュラムでは、全体の構成、看護教育の理念等を時代の要請に沿った充実したものとなっている。その意味で看護の対象が個人単位でなく家族単位、地域単位であることをより強調している。そして、医療施設を地域社会の一部また、人が患者になるのは人生の一時的なものだと捉え、継続看護、地域社会の健康維持増進のための役割も期待したものとなっている。

5. 課題及び問題点

新カリキュラムは総論的には評価できるが、23年ぶりに改訂され、将来にわたるカリキュラムとしては、各論部分でいくつかの課題が残されている。まず、スリランカは先進国同様に高齢化の傾向にあり、様々な面から社会問題になりつつある。当然、看護の対象者も高齢者の占める割合が増えつつあるが、基礎看護教育の場で老人看護学が設けられていないことである。また、カリキュラムの中で臨地実習をどのように位置付けるのか、どのように講義と連携させていくのかも旧カリキュラム同様、具体的に計画されていない。また、地域保健学の地域実習が3ヶ月を計画されているが実際は1ヶ月しか実施できない等、各教科がスケジュールに沿って実施できていない状況で、新カリキュラムに謳う教育目的を達成するには多くの質量とも問題が予測されることから、カリキュラムの充実はさることながら、教科ごとの実施にあつての問題点と解決方法を明確にしていく作業が必要となろう。

蛇足であるが、昨今、アルマ・アタ宣言の到達地点である2、000年を目前に、WHOを中心に発展途上国における医療看護教育、医療従事者の倫理の見直しが盛んに行われており、今回のスリランカの国立看護学校のカリキュラム改訂にあたってはその影響を受けていることは否定できないと思われる。

WORKSHOP FOR MIDDLE-LEVEL TRAINERS' TRAINING

THEME: Clinical supervision of nursing students

- PURPOSE:**
1. To realize the significance of knowledge and techniques in nursing education.
 2. To realize the significance of demonstrations in practical room.
 3. To learn how to set objectives of practice.
 4. To learn how to evaluate practice educationally in nursing schools and hospitals.
 5. To review teaching methods and components of demonstrations on SUPPORT OF DAILY CARE, SURGICAL CARE and design an introduction of video.
 6. To study about systematic interactions between nursing school and hospital for effective practical instructions.
 7. To make an effort to upgrade the level of nursing by means of taking up as topics of work-shop concerning current conditions and trends on nursing in Sri Lanka and Japan.

| 1ST WORKSHOP | | 2ND WORKSHOP |
|------------------|--|---|
| DATE | MAY 26 - 31, 1997 | NOV. 10 - 13, 1997 |
| VENUE | SRI LANKA FOUNDATION INSTITUTE (SLFI) | SRI LANKA FOUNDATION INSTITUTE (SLFI) |
| PARTICIPANTS | NURSING TUTORS - 25 (13 SCHOOLS) NURSING OFFICERS-49 (18 HOSPITALS) | NURSING TUTORS - 24 (12 SCHOOLS) NURSING OFFICERS-46 (17 HOSPITALS) |
| THEME | CLINICAL SUPERVISION OF NURSING STUDENTS | CLINICAL SUPERVISION OF NURSING STUDENTS |
| TITLE OF SEMINAR | DAILY CARE FOR PATIENTS:- ① Sponge Bath ② Medical Asepsis ③ Positioning of Patients ④ Evening Care ⑤ Feeding Patients ⑥ Care of Hair ⑦ Communication with the Patient | SURGICAL CARE FOR PATIENTS:- ① Catheterization ② Injection ③ Post Operative Care ④ Stoma Care ⑤ Surgical Asepsis |

Annex IV. (Annual Work Plan 1997 FY)

| Contents of Work Plan | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|--|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 1. The preparative activity for establishing national nursing school | | | | | | | | | | | | |
| 2. Study on the actual condition of nursing school and hospital | | | | | | | | | | | | |
| 3. Development of teaching method | | | | | | | | | | | | |
| 4. supervision for community health | | | | | | | | | | | | |
| 5. Workshop for middle-level trainers training | | | | | | | | | | | | |

Annex I. (Implementation of dispatched experts for 1997 FY)

| CATEGORY | EXPERTISE | NAME OF EXPERTS | TERM | '97 Apr. May. Jul. Oct. Nov. Jan. Mar. | '98 |
|-------------------|------------------|-----------------|-------------------------|---|-------|
| Long Term Expert | Team Leader | M.SASAKI | 1996/09/25 -98/09/24 | _____ | _____ |
| | Coordinator | S.KOBAYASHI | 1996/09/04 -98/09/03 | _____ | _____ |
| | Nursing Practice | N.ONO | 1997/03/19 -99/03/18 | _____ | _____ |
| | Community Health | M.Higuchi | 1997/07/04 -99/07/03 | _____ | _____ |
| Short Term Expert | Workshop | A.Yamamoto | 1997/05/21 | — | — |
| | Workshop | A.Uchinuno | -99/05/31 | — | — |
| | Workshop | T.Kawaguchi | | — | — |
| | Workshop | Y.Mori | 1997/10/24 -97/11/30 | | — |

(Remarks)

_____ Implementation

Annex V. (Implementation and Tentative Plan of the Dispatch of Experts 1997 FY)

| CATEGORY | EXPERTISE | NAME OF THE EXPERTS | TERM | 97 | | | | 98 | | | | | | | | | |
|-------------------|------------------|---------------------|-------------------------|----|---|---|---|----|---|----|----|----|---|---|---|--|-------|
| | | | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | |
| Long Term Expert | Team Leader | M.SASAKI | 1996/09/25 -98/09/24 | | | | | | | | | | | | | | |
| | Coordinator | S.KOBAYASHI | 1996/09/04 -98/09/03 | | | | | | | | | | | | | | |
| | Nursing Skill | N.ONO | 1997/03/19 -99/03/18 | | | | | | | | | | | | | | |
| | Community Health | M.HIGUCHI | 1997/08/01 -99/07/31 | | | | | | | | | | | | | | |
| Short Term Expert | Nursing Skill | Y.MORI | 1997/10/24 -97/11/30 | | | | | | | | | | | | | | |
| | Nursing Skill | Y.MORI | 1998/03/01 -98/03/31 | | | | | | | | | | | | | | |
| Workshop Seminar | | A.YAMAMOTO | 1997/05/21 -97/06/04 | | | | | | | | | | | | | | |
| | Seminar | T.KAWAGUCHI | 1997/05/21 -97/06/04 | | | | | | | | | | | | | | |
| | Lecturer | A.UCHINONO | 1997/05/21 -97/06/04 | | | | | | | | | | | | | | |

(Remarks)

Implementation

..... Tentative Plan

Annex III. (Implementation and Tentative Plan of C/P Training in Japan For 1996,1997 FY)

| CATEGORY | TRAINING COURSE | NAME OF PARTICIPANTS | 1996 | | | 1997 | | | | | | | | |
|-----------------------|---------------------|----------------------|------|----|----|------|----|----|----|----|----|----|--|--|
| | | | 04 | 07 | 10 | 12 | 03 | 04 | 07 | 10 | 12 | 03 | | |
| 1.Nursing Education | Nursing Management | Mrs.N.C.De Costa | | | | | | | | | | | | |
| 2.Nursing Education | Nursing Skill | Mrs.W. Ranawaka | | | | | | | | | | | | |
| 3.Hospital Management | Hospital Management | Dr.De Lanerolle | | | | | | | | | | | | |
| 4.Nursing Education | Nursing Skill | Ms.S.Kalahear achchi | | | | | | | | | | | | |

(Remarks)

- _____ Implementation
- - - - - Tentative Plan

Annex VII. (Tentative Plan of Training in Japan 1997 FY)

| Field | Expected Period | Expected Training Organs | Remarks |
|---|-----------------|----------------------------------|---------|
| 1) School Management (Dr.De Lanerolle) | Three weeks | 1.Ministry of Health and Welfare | 1997/10 |
| 2) Nursing Education (Ms.S.kalahearachchi) | Six Month | 1.Ministry of Health and Welfare | 1998/03 |
| | | | |

Annex VII. (Tentative Plan of Training in Japan 1998 FY)

| Field | Expected Period | Expected Training Organs | Remarks |
|--|-----------------|----------------------------------|---------|
| 1) Nursing Education (Ms.Chandra YAKAHAWITA) | Three Month | 1.Ministry of Health and Welfare | 1998/04 |
| 2) Nursing Education (Ms.K.M.G.Menike) | Three Month | 1.Ministry of Health and Welfare | 1998/04 |
| | | | |

Annex II. Equipments has been provided in 1996 FY

| NO. | NAME OF EQUIPMENTS | QUANTITY | DISTRIBUTION |
|-----|----------------------------------|----------|-------------------|
| 1 | WIRELESS MICROPHONE | 24 | 12 NURSING SCHOOL |
| 2 | STAND FAN | 24 | 12 NURSING SCHOOL |
| 3 | AUTOMATIC AIR POT | 24 | 12 NURSING SCHOOL |
| 4 | WALL CLOCK | 48 | 12 NURSING SCHOOL |
| 5 | TYPEWRITER | 12 | 12 NURSING SCHOOL |
| 6 | COMPUTER | 1 | FOR PROJECT TEAM |
| 7 | RECORDING DOLL | 10 | 10 NURSING SCHOOL |
| 8 | INJECTION SIMULATOR | 10 | 10 NURSING SCHOOL |
| 9 | NURSE TRAINING DOLL | 10 | 10 NURSING SCHOOL |
| 10 | SPHYGNOMANOMETER | 60 | 12 NURSING SCHOOL |
| 11 | STETHOSCOPE | 60 | 12 NURSING SCHOOL |
| 12 | COPY PRINTER | 11 | 11 NURSING SCHOOL |
| 13 | MICROSCOPE | 24 | 12 NURSING SCHOOL |
| 14 | STERILIZER | 24 | 12 NURSING SCHOOL |
| 15 | DRESSING DRUMS (LARGE) | 24 | 12 NURSING SCHOOL |
| | (MEDIUM) | 24 | 12 NURSING SCHOOL |
| | (SMALL) | 24 | 12 NURSING SCHOOL |
| 16 | VEHICLE | 1 | FOR PROJECT TEAM |
| 17 | VIDEO-TAPE FOR NURSING EDUCATION | 48SET | 12 NURSING SCHOOL |

Annex VI. (Tentative Plan for the Provision of Equipment 1997 FY)

Tentative Planning Budget: [Total] Purchasing Cost: 47,660,000 yen Shipping Cost: yen

| NO. | ITEM | QTY. | APPR. COST (x 1,000 yen) | SUMMARY OF FUNCTION | PURPOSE |
|-----|------------------------------|------|-----------------------------|-------------------------|--|
| 1 | Beds for Patient | 20 | 3,400 | 10 NURSING SCHOOL | It is necessary for the demonstration practice |
| 2 | Side-Table for Bed | 20 | 860 | 10 NURSING SCHOOL | Same as above |
| 3 | Cabinet for Bed-Side | 20 | 730 | 10 NURSING SCHOOL | Same as above |
| 4 | Accordion Screen | 20 | 1,340 | 10 NURSING SCHOOL | Same as above |
| 5 | Utility Cart | 11 | 3,080 | 11 NURSING SCHOOL(SJGH) | Same as above |
| 6 | Compact Cart | 11 | 1,188 | 11 NURSING SCHOOL(SJGH) | Same as above |
| 7 | Dressing Cart | 11 | 3,080 | 11 NURSING SCHOOL(SJGH) | Same as above |
| 8 | Stethoscope for education | 22 | 374 | 11 NURSING SCHOOL(SJGH) | Same as above |
| 9 | Wall Chart for Human Anatomy | 11 | 5,632 | 11 NURSING SCHOOL(SJGH) | For the lecture of physiology & anatomy |

Annex VI. (Tentative Plan for the Provision of Equipment 1997 FY)

Tentative Planning Budget: [Total] Purchasing Cost: 47,660,000 Yen Shipping Cost: yen

| NO. | ITEM | QTY. | APPR. COST (x 1,000 yen) | DISTRIBUTION | PURPOSE |
|-----|----------------------------------|--------|-----------------------------|-------------------------|---|
| 10 | Cabinet for Wall Chart | 11 | 1,452 | 11 NURSING SCHOOL(SJGH) | Safekeeping |
| 11 | Slide Projector | 11 | 2,200 | 11 NURSING SCHOOL(SJGH) | To upgrade the contents of education using audio -visual material |
| 12 | Computer | 11 | 7,700 | 11 NURSING SCHOOL(SJGH) | Improvement of administration and management on nursing school |
| 13 | Video tape for nursing education | 11 set | 3,000 | 11 NURSING SCHOOL(SJGH) | To upgrade the contents of education using audio -visual material |
| 14 | Screen for Slide Projector | 11 | 1,408 | 11 NURSING SCHOOL(SJGH) | To upgrade the contents of education using audio -visual material |
| 15 | Vehicle | 2 | 8,000 | FOR PROJECT TEAM | It is necessary for this study of project team |
| 16 | Microbus | 1 | 4,000 | FOR SJGH NURSING SCHOOL | It is necessary for the SJGH nursing school of field practice |
| | | | | | |
| | | | | | |

Annex IV. (Annual Work Plan 1998 FY)

| Contents of Work Plan | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|--|---|-----|---|---|---|---|-----|----|----|---|---|---|
| 1. The preparative activity for establishing national nursing school | | | | | | | | | | | | |
| 2. Workshop for middle-level trainers training | | --- | | | | | --- | | | | | |
| 3. Development of teaching method | | | | | | | | | | | | |
| 4. Study on the actual condition of nursing school and hospital | | | | | | | | | | | | |

(Remarks)

..... Tentative Plan

Annex V. (Tentative Plan of the Dispatch of Experts 1998 FY)

| CATEGORY | EXPERTISE | NAME OF THE EXPERTS | TERM | 98 | | | | | | | | | | | | 99 | | | | |
|-------------------|-----------------------|---------------------|-------------------------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|--|--|--|--|
| | | | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | | | | |
| Long Term Expert | Team Leader | M.SASAKI | 1996/09/25 -98/09/24 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Coordinator | S.KOBAYASHI | 1996/09/04 -98/09/03 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Nursing Skill | N.ONO | 1997/03/19 -99/03/18 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Community Health | M.HIGUCHI | 1997/08/01 -99/07/31 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Short Term Expert | Nursing Practice | UNDECIDED | 1998/05/01 -98/08/31 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Nursing Practice | UNDECIDED | 1999/01/10 -99/03/31 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Curriculum Management | UNDECIDED | 1999/01/10 -99/03/31 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(Remarks)

..... TENTATIVE SCHEDULE

Annex VI. (Tentative Plan for the Provision of Equipment 1998 FY)

Tentative Planning Budget: [Total Purchasing Cost: 38,000,000 Yen Shipping Cost: 2,000,000yen

| NO. | ITEM | QTY. | APPR. COST (x 1,000 yen) | PURPOSE | DISTRIBUTION |
|-----|-----------------------------------|-------|-----------------------------|--|--------------------------------------|
| 1 | MICROBUS | 5 | 20,000 | TRANSPORT TO PRACTICE HOSPITAL | 1.KANDANA 2.GALLE 3.KANDY 4. |
| 2 | BOOKS | 1,400 | 4,400 | ENHANCE OF BOOKS ON MEDICAL & NURSING | 13 NURSING SCHOOL (INCLUDING PBS) |
| 3 | DAILY CARE SET | 120 | 2,000 | EXPANSION OF NURSING MATERIAL IN WARD & DEMONSTRATION ROOM | 12 NURSING SCHOOL |
| 4 | STRECHER | 12 | 2,448 | EXPANSION OF PRACTICE IN DEMONSTRATION ROOM | 12 NURSING SCHOOL |
| 5 | WHEEL CHAIR | 12 | 552 | EXPANSION OF PRACTICE IN DEMONSTRATION ROOM | 12 NURSING SVHOOO |
| 6 | KELLY PAD | 120 | 1,920 | EXPANSION OF PRACTICE IN DEMONSTRATION ROOM & WARD | 12 NURSING SCHOOL |
| 7 | BOOKSHELVES | 12 | 1,000 | EXPANSION OF MATERIAL ACCORDING TO PROVIDE OF BOOKS | 12 NURSING SCHOOL |
| 8 | RACK FOR AUDIO-VISUAL MATERIAL | 12 | 300 | EXPANSION OF MATERIAL | 12 NURSING SCHOOL |
| 9 | CUPBOARD FOR NURSING MATERIAL | 120 | 2,400 | EXPANSION OF MATERIAL | 12 NURSING SCHOOL |

Annex VI. (Tentative Plan for the Provision of Equipment 1997 FY)

Tentative Planning Budget: [Total] Purchasing Cost: 47,660,000 Yen Shipping Cost: yen

| NO. | ITEM | QTY. | APPR. COST (x 1,000 yen) | PURPOSE | PURPOSE |
|-----|-------------------|------|-----------------------------|---|-------------------|
| 10 | FACSMILE MACHINE | 12 | 800 | TO DEVELOP CLOSER RELATIONS BETWEEN NURSING SCHOOL & PROJECT TEAM | 12 NURSING SCHOOL |
| 11 | WASHING MACHINE | 12 | 1,000 | WASH OF NURSING MATERIAL USED WITH PRACTICE | 12 NURSING SCHOOL |
| 12 | REFRIDGERATOR | 12 | 1,100 | PRESERVATION OF FOODS ON COOKING PRACTICE | 12 NURSING SCHOOL |
| 13 | CASSETTE RECORDER | 24 | 200 | RECORDING OF TEACHING CONTENTS FOR STUDENTS | 12 NURSING SCHOOL |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

Annex VII. (Tentative Plan of Training in Japan 1997 FY)

| Field | Expected Period | Expected Training Organs | Remarks |
|---|-----------------|----------------------------------|---------|
| 1) School Management (Dr.De Lanerolle) | Three Weeks | 1.Ministry of Health and Welfare | 1997/10 |
| 2) Nursing Education (Ms.S.kalahearachchi) | Six Month | 1.Ministry of Health and Welfare | 1998/03 |
| | | | |

Annex VII. (Tentative Plan of Training in Japan 1998 FY)

| Field | Expected Period | Expected Training Organs | Remarks |
|--|-----------------|----------------------------------|---------|
| 1) Nursing Education (Ms.Chandra YAKSHAWITA) | Three Month | 1.Ministry of Health and Welfare | 1998/04 |
| 2) Nursing Education (Ms.K.M.G.Menike) | Three Month | 1.Ministry of Health and Welfare | 1998/04 |
| | | | |

平成9年11月26日作成
スリランカ看護教育プロジェクト

STEERING COMMITTEE and JOINT COORDINATING COMMITTEEで検討する内容

現在、抱えている問題点、課題等

1. プロジェクト実施機関の保健省との連携

(1). 看護教育課長 (Ms. De Costa) との連携不足

プロジェクト活動が多岐にわたり推進していることに伴い、プロジェクトと保健省との連携が増大している。特に保健省看護教育課長がプロジェクト活動推進の日常的なCoreであるが、超多忙であるため、運営上の問題が多い。看護教育課長をサポートする者を配置し、円滑な連絡協議、業務の進行、定刻通りの会議出席等、当該プロジェクト活動の実施主体がスリランカにあることを認識し、リーダーシップが発揮できるよう解決策を講じてほしい。

参考：①、1997年度計画打合せ調査団来訪時、運営委員会 (Steering Committee Meeting) を開催し、その席上、日本側からの要求に対して、保健省側は看護教育課長をサポートするためのアシスタントをつける約束をした。

②、約束が実行されないので、JICAスリランカ事務所長から文書をもとて要求しようとしたが、看護教育課長本人が直接上司と話し合いたいとことで、現時点何ら解決されていない。

保健省での担当官との連携

プロジェクト活動の推進に伴う、課題、問題点が生じている。保健省看護教育課長で解決できないことも多い。特に国立看護学校設置準備において生じている。プロジェクトとしても会議内容の議事録を配布したり、随時、連絡をとっているが、問題・課題の把握と関心をよせ、早期解決に努力をしてほしい。また、必要時会議に出席することが必要と思われる。

(2). カリキュラムと病院での臨床実習

1974年に作成されたカリキュラムから、約20年振りに新カリキュラムが検討され、近いうちに実施されようとしているが、従来から問題となっている①、臨床実習に出る時期が早すぎる。②、臨床実習に先立ち、学校内で十分かつ効果的な演習が行われいない。の2点が看護婦不足とあいまって、どこまで解決されるのか、大きな課題である。

(3) プロジェクト技術協力・供与機材の通関手続き遅延

経過：平成8年度分プロ技・供与機材は、4月29日と5月22日の2回に分けて船便で輸送された。およそ1ヵ月でコロンボ港に到着。(5月29日、6月22日) S J G H側からクリアランスの為の必要な書類を提出し(保健省 Medical Supply Department)、機材のクリアの返事を待つが保健省側から何の連絡なく、プロジェクト側でS J G Hの機材担当のMr Pereraに状況を問うも保健省側にActionをおこすよう催促しているが、関心を持っておらず、なかなか動かないとの説明であった。

その後、S J G HのChairmanあてにSri Lanka Ports Authority(機材クリアランス担当者)から手紙が届き、「スリランカ港湾条例」により、今、留め置きとなっている機材はこの手紙の日付から7日間以内に何の手続きもおこさなければ、オークションを開いて勝手に売りさばくことが出来ると書いてあった。Director(院長)から早急に機材クリアの手続きをとるよう保健省に連絡をとり、保健省側で手続きを進めて事なきを得たこの2つの機材がやっとクリアして検収を実施したのは、11月7日、11月17日。機材がコロンボ港に到着し検収調書を取る迄約5ヵ月~6ヵ月を要した遅れの原因：

- ①. Consignee(荷受人)の住所がS J G Hになっており、保健省側は民間の施設であるので、S J G Hが通関手続きを取るべきであると主張した。
- ②. 保健省側が委託する通関手続き業務) Agentが1年毎に契約更新しており、機材が港に到着した時に、ちょうどAgentの切り替える時期だったので、その間1ヵ月以上のブランクがあり、手続きができなかった。また、今のAgentはConsignement(荷物の搬送専門の業者) onlyだったので通関業務にうとく、このため余計に時間がかかり過ぎた。

解決策：

- ①. については、ConsigneeをD. G. Ministry of Health 宛てに書き換えたので解決されると思う。
- ②. に関しては、もう少し保健省側のM. S. D. で誠意をもってAgentに早急なActionをとるよう働きかけるべきである。

(4) スリジャヤワルダナプラ国立看護学校開校準備体制について

①. 開校準備室の設置

校長他教職員が開校準備に当たることができるよう、また就任前であっても実質的な開校準備に参加できるように、開校準備室を設置し、業務が円滑に遂行できるような環境を整備することが必要である。

②. 校長の速やかな決定と開校6ヵ月前の専任就任について

校長が決定すれば、開校6ヵ月前の就任前であっても、実質的な開校準備に参加

し新しいモデル的な学校作りを目指せるよう配慮することが必要である。

- ③. 当該看護学校に就任する予定の副校長及び教員そして他の職員についても、人数と期日を厳守すること。

また、校長同様、実質的な開校準備に早い時期から参加できるよう配慮することが必要である。

- (5). 現S J G H看護学校とスリジャヤワルダナプラ国立看護学校との関係について

- ①. 国立看護学校の設置に件い、再度、保健省・S J G H・新国立看護学校の組織と位置づけ、予算の流れ方を協議し、校長が校長として力が発揮できるような位置づけを明確にしてほしい。

- ②. 新国立看護学校は、設置主体の異なるS J G H敷地内に建設され、実習病院もS J G Hであることから、日常の学校運営でS J G Hの人的・物的・経済的協力を必要とすることが考えられる。

その場合の国立看護学校の設置主体である保健省の対応を一つ一つの例を取り上げ協議する必要がある。

- ③. S J G Hの看護婦不足にスリジャヤワルダナプラ国立看護学校の卒業生をどのように貢献させるのか。協議し、ミニッツを取り交わすことが必要であろう。

- ④. 現S J G H看護学校学生は現在37人が学んでいる。

日本政府による無償協力の国立看護学校の竣工後は、1999年2月末の予定である。一方、S J G H学生は3年生で1999年10月が卒業月である。これまでの話合いの過程で、当該37人を国立看護学校へ移管し、卒業させたい意向を聞いている現37人のS J G H看護学生をどのように取り扱うか協議する必要がある。

- ⑤. 看護教育プロジェクトで供与した機材について

現S J G H看護学校が国立看護学校に移管された場合には、これまで看護教育プロジェクトが供与した機材は、一旦当該プロジェクトに返還されることとなる。承知しておいてほしい。

- (6). ワークショップ・セミナー開催に伴う保健省側の年次的負担額について

1997年度を初年度としてJICA中堅技術者養成対策費でワークショップ・セミナーを開催し、今後4年間行う予定としている。今後のJICAと保健省側の予算配分は次の通りとなる。

当該開催が円滑に運営されるよう予算の確保をお願いしたい。

| | J I C A | 保健省 |
|------|---------|-----|
| 1997 | 100% | 0% |
| 1998 | 80 | 20 |
| 1999 | 60 | 40 |
| 2000 | 40 | 60 |
| 2001 | 20 | 80 |

(7). 看護学校スクールバスについて

現在使用している看護学校スクールバスは古くてよく故障する。実習等に支障を来しているので、順次新しいスクールバスに取り替える必要がある。

2. その他（無償協力）

無償協力による国立S J G H看護学校の設置に伴うスリランカ側が負担する予算の確保を図る。

NURSING EDUCATION PROJECT (technical cooperation project)

Items / problems to be discussed / solved in steering committee / joint coordinating committee

1. Necessary arrangement done by MOH

(1) Proper allocation of staff at MOH

It is apparent there's a strong necessity to deepen the relationship of MOH and JICA project team. And Director of Nursing Education, regarded as counterpart (C/P) for the project at MOH is expected to work actively for it. Person at her position, however, has too much to do to share her time with the project.

MOH once promised in the steering committee meeting back in April 1997 to allocate an assistant to her when consultation mission came from Japan. She also asked Mrs. Sasaki not to try to get official claim letters by JICA Sri Lanka office / EOJ on this issue, saying she was going to discuss with her boss about it.

So far, nothing has been done by MOH, in spite that people are fully aware that things never go forward without her.

It is strongly demanded that MOH should take prompt action to establish / allocate an assistant to her for smooth project implementation. MOH itself, at the same time, should watch carefully, take active participation, and have leadership in the project since it is MOH which is executing the project in Sri Lanka.

(2) Proper revision of school curriculum

MOH is revising curriculum of nursing education first time in over twenty years. It is observed that nursing students cannot prepare enough with the present curriculum, and should learn more at schools before practicing at hospitals. MOH should improve it in spite that they need those students at hospitals because of shortage of nurses.

(3) Prompt custom clearance for equipment from Japan

Once JICA had an awful experience that equipment for the project were about to be sold in the auction by SLPA because Medical Supply Department (MSD) didn't take actions for their custom clearance for a long time. The notice was reached to Chairman at SJGH, and Director worked very hard on it. It took about half a year at last after their arrival at port. MOH then insisted that it had been not MOH, but SJGH which should have taken action

for it although MOH was the implementing body of the project. Consignee appeared in the shipping documents was SJGH, actually and it complicated things then. It has been changed from SJGH to MOH now, and MOH should pressure its agent to work much more effectively.

(4) Preparation for opening new National School of Nursing at SJGH

It is recommended to make arrangements for opening new National School of Nursing at SJGH (hereinafter as 'new national school'), such as;

- a. To establish a preparatory committee at MOH for set-up of "software"
- b. To prepare an office space at site for the above committee
- c. To appoint the principal, at least six months prior to the opening of new national school
- d. To allocate proper number of staff in time
- e. To keep budget to do part of furnishing (eg.; curtaining, books, etc.)

(5) To discuss with SJGH about the relations between SJGH's present nursing school and new National School of Nursing at SJGH

It is recommended to examine;

- a. school management -how new national school is going to be managed,
- b. budget flow for new national school,
- c. roles of SJGH and MOH -how SJGH and MOH collaborate each other in the aspects of human resources, materials, and finance (Appendix 1)
- d. job opportunities for students to work at SJGH - how students contribute to SJGH.

Thirty seven nursing students learn at SJGH's school at present and they are completing their education in October 1999. The construction work of new national school is scheduled to end late February 1999, and some prefer they should learn there after that.

(6) Budget allocation for workshop seminar

Like last two times in May and November 1997, workshop seminar for middle-level trainers is scheduled to be held annually until 2001. MOH and JICA are supposed to share its cost as follows and MOH should allocate enough budget for it;

| | MOH | JICA | |
|-----------|-----|------|----------------|
| FY1997/98 | 0% | 100% | ¥ 1,690,000.00 |
| FY1998/99 | 20% | 80% | |
| FY1999/00 | 40% | 60% | |
| FY2000/01 | 60% | 40% | |

FY2001/02 80% 20%

(7) improvement of transportation

Transportation for nursing students are rather old and frequently need repair. It obstacles their practice at hospitals, and should be replaced promptly if necessary.

Note; If SJGH's present nursing school is shifted into new national school, all equipment already provided by JICA should be returned to the project to avoid any inconvenience.

2. Others (grant aid project)

The construction work of new national school is beginning in December 1997, by Mitsui Construction Co.,Ltd, funded by Japanese government. It is said proper arrangements such as allocation of security guards, water supply, power supply, fence building, curtain provision, etc are necessary by MOH. SJGH and MOH are needed to discuss about these issues with the initiative of Yamashita sekkei Inc.

Examples of practical situations;

APPENDIX-1

- 1). Where is students' health check-up done ? At National Hospital or SJGH ? When students get sick, emergency accidents, annual health check-up, vaccination ,their medication, examination and operations,who pays the cost if SJGH does it ?
- 2). Facilities; Who undertakes drainage problems, electricity, maintenance of building, maintenance of machinery ?
- 3). Who provides and maintains the equipment that students use at clinical practice in the hospital.
- 4). When patients face accidents while students are at practice, who takes the responsibility ?
Eg;accidents of medication/moving/accidental pricking of the needle while giving injection/accidents in handling children;eg slipping in the bathroom.
- 5). When students use hospital electricity,water etc.,at practice, who pays for them ?
- 6). In case of an argument between ward sisters and tutors who solves it?
- 7). Who disposes the contaminated material which the students use at practice room or at school ?

Who is responsible for environmental sanitation? Can the PHI of SJGH supervise ? Can the school have a separate janitorial staff ? Is there a separate incinerator for the school ?

- 8). Who takes care of repairs ? Eg;colour washing ,breakdown of equipment
Can SJGH board of management undertake and re-imburse the money from the ministry ?

国立看護学校と病院の組織的位置づけ

国立看護学校は中央政府が直接管理しているが、看護学校が実習病院として使用している。病院の規模及び管轄主監が異なるため、業務上様々な支障を来している。

看護学校と実習病院

| 看護学校 | 実習病院 | 病院主管 |
|-----------------|------------------|--------|
| コロボ看護学校 | コロボ総合病院 | 保健省 |
| ゴール看護学校 | カラピテア教育病院 | 保健省 |
| キャンディ看護学校 | キャンディ教育病院 | 保健省 |
| クルネーガラ看護学校 | クルネーガラ教育病院 | 保健省 |
| スリジャヤワルダナブラ看護学校 | スリジャヤナワルダナブラ教育病院 | 保健省＋民間 |
| バドゥンラ看護学校 | バドゥラ病院 | 州政府 |
| アヌラーダブラ看護学校 | アヌラーダブラ病院 | 州政府 |
| バティカロア看護学校 | バティカロア教育病院 | 保健省 |
| ジャフナ看護学校 | ジャフナ教育病院 | 保健省 |
| カンダナ看護学校 | ラーガマ教育病院 | 保健省 |
| ラトナブラ看護学校 | ラトナブラ病院 | 保健省 |
| ムンレリヤーワ看護学校 | アンゴダ病院／ムンレリヤーワ病院 | 保健省 |

アヌラダブラ看護学校とバドゥンラ看護学校以外は、組織上、実習病院の管理下に入り、学校長は、病院長の下に位置づけられる。予算の執行は、病院に看護学校の分として、平均2百万ルピーが供給される。病院長が予算上の管理責任者になる。

アヌラーダブラとバドゥンラは、学校と病院の管轄主体がことなるため、学校が独自に管理運営をしている。しかし、実際は、両校とも会計担当者が不在であるため、保健省が日常的な会計出納に当たっている。同国では、あらかじめ、各施設でリストアップした予算要求書に基づき政府が物品を購入するシステムをとっている。したがって、両校は、鉛筆から石鹸まで、必要なものをそのつどコロボの保健省で入手しなければならない。

新国立看護学校は、経営形態が半官半民であるスリジャヤワルダナブラ病院を実習病院となるため、管理運営上、上述したような従来 of 例にも入らず、看護学校と病院の連携及び維持管理等新たな組織が必要となる。

SOLUTIONS PROPOSED BY THE PRELIMINARY STEERING COMMITTEE/
JOINT COORDINATING COMMITTEE
XX

The Meeting on 8th Dec. '97 was chaired by Dr. Gnanissara (DDG, Exams & Training)
The Meeting on 9th Dec. '97 was chaired by the Secretary -MOH, Mr. Christie Silva.

(1) Proper allocation of staff at MOH

*Principal of new national nursing school will be appointed by February '98.
She shall stay at MOH and work with Mrs. De Costa for the new school.

*Ms. Irangane Abeygunewardene, (Director-Building, Administration & Logistics
will coordinate MOH and JICA project.

(2) Proper revision of school curriculum

* New curriculum should be discussed with JICA Nursing Education Project
and then finalise it.

(3) Prompt custom clearance for equipment from Japan

In future, any inconvenience in clearance of equipment will be prevented by
the MOH.

(4) Preparation for opening new National School of Nursing at SJGH

ⓐ Ms. I. Abeygunewardene shall join the Operation Committee meetings
whenever necessary and handle issues including the budget for the new
school.

The Steering Committee shall be held whenever we need, under the leader-
ship of the Secretary of MOH. People who are relevant for the issues
of discussion shall be called.

ⓑ Before February '98 the estimate of the expenses of the school should
be forwarded by Mrs. De Costa, to be included in the 1999 budget.

(5) To discuss with SJGH about the relations between SJGH's present nursing
school and new National School of Nursing at SJGH.

The Management of the whole school by a separate new board of management
including representatives from SJGH and MOH, was proposed, since it shall be
an important national project.

The administration work will be handled by the principal. Finances will be
handled by the ministry.

(6) Budget allocation for workshop seminar

The estimate of the expenses should be forwarded. JICA and Ms. De Costa
should try to reduce expenditure of the workshop seminar.

Seminar of teaching method by JICA

1. Theme : Development of teaching methods in nursing education

2. Date: 11, 12, 13 Feb 1998

3. Objectives:

*To develop skills in organization of content and teaching-learning activities.

*To develop skills in use of media.

*To have understanding of teaching evaluation devices

4. Venue: SLFI Lecture halls

5. Participants: 20 tutors

1) 5 personnel who will come to the new school of nursing
(sis. Ranawaka, sis. Sama, Ratnapura, Kandy, Galle)

2) 15 participants who attended 1st, 2nd workshop seminar. tutors who teach fundamentals are preferable.

6. Contents

1) Lecture "Use of media" by Ono, JICA Nursing education project

2) Trial lectures by participants.

3) Teaching evaluation by participants

7. Method:

This will be carried out based on seminar style.

Participants design and present lectures based on revised curriculum.

1) 5 participants will be in 1 group.

2) Select 1 chapter from fundamentals of nursing.

3) Design 45 minute lecture.

4) Select 1 person as a lecturer. All group will present.

5) Evaluate among participants.

8. Teaching personnel: PBS tutors, JICA project

9. Time table

Tue. 10th. Feb

8:30- 8:50 registration
8:50- 9:10 orientation
9:10- 9:40 Lecture
 "Use of media"
 JICA Ono
9:40-10:00 Group work
10:00-10:10 tea break
10:10-12:00 Group work
12:00- 1:00 Lunch
1:00- 2:30 Group work
2:30- 2:40 tea break
2:40- 4:30 Group work
 Report progress sheet

Wed. 11th. Feb

8:30- 12:00 Group work
12:00- 1:00 Lunch
1:00- 4:00 Group work
4:00- 4:30 Guidance for presentation
4:30 Report progress sheet

Thu. 12nd. Feb

8:30- 9:15 Trial lecture 1
9:15-10:00 Trial lecture 2
10:00-10:10 Evaluation
10:10-10:20 Tea break
10:20-11:05 Trial lecture 3
11:05-11:50 Trial lecture 4
11:50-12:00 Evaluation

pm (principals meeting)

<notice>

*Certificates will not be issued.

*Video tape of lecture will be given to the lecturer.

*Lecture will be conducted in SriLankan language.

JICA